

春日井市 潮見坂平和公園再整備計画



2020年11月
春日井市建設部公園緑地課
潮見坂平和公園管理事務所

目 次

1	計画策定の背景と目的	1
(1)	計画策定の背景と目的	1
(2)	計画策定の経緯	2
(3)	諸条件の整理	3
2	潮見坂平和公園の施設の現状	7
(1)	潮見坂平和公園の区画数	7
(2)	潮見坂平和公園の園内施設	9
3	潮見坂平和公園の課題	14
(1)	墓地需要推計	14
(2)	潮見坂平和公園の申込数	16
(3)	申込者が望むお墓のあり方	17
(4)	将来的なお墓の維持管理に対する不安	19
4	再整備計画	21
(1)	再整備の方向性	21
(2)	再整備の基本方針	21
(3)	具体的な施策	23
5	具体的な施策のスケジュール	33
資料編		
I	検討の経緯と市民意見公募について	34
II	お墓に関する意識調査アンケートについて	35
III	潮見坂平和公園墓地需要予測について	56

1 計画策定の背景と目的

(1) 計画策定の背景と目的

潮見坂平和公園は、1966年(昭和41年)に供用が開始され、約50年が経過しました。現在、本市では潮見坂平和公園約23,000区画の市営墓地の管理を行い、これまでに、市民に安定的に墓地を供給できるように運営してきました。

しかしながら、近年は少子高齢化や核家族化のさらなる進行に加え、生涯未婚率の上昇等の社会情勢の変化や市民の墓地に対する考え方の変化を始めとする価値観やライフスタイルの多様化等にも対応する必要があります。

また、墓地については第1墓所から第7墓所まで順次拡張してまいりましたが、園内施設については経年劣化が進んでおり、修繕を要するようになっているほか、バリアフリー対応等時代の要請にあった施設改修を行う必要があります。

本計画では、これらの事情を加味した潮見坂平和公園における施設の再整備計画を策定することを目的とします。

表 1 潮見坂平和公園の概要

(2020年3月31日現在)

所在地(代表地番)	春日井市大泉寺町字大池下292番地	
沿革	1961年2月8日	都市計画決定(建設省告示161号) (都市計画法上の名称は「潮見坂墓園」)
	1966年3月16日	事業計画策定(建設省告示711号)
	1966年11月12日	墓地の供用開始
面積	総面積	796,000 m ²
	取得面積	773,964.25 m ²
	墓所面積	265,000 m ²
区画	計画区画数	30,000 区画
	造成区画数	22,985 区画
	貸付区画数	21,734 区画

(2) 計画策定の経緯

本計画に先立ち、2019年度(令和元年度)に『お墓に関する意識調査アンケート』(以下「アンケート」という。)を実施し、『潮見坂平和公園墓地需要予測及びお墓に関する意識調査アンケートの結果について』を、2019年11月に春日井市議会建設委員会にて報告しました。

本報告は、供用開始から50年を超えた潮見坂平和公園について、現在の市民の墓地に関する考え方や市民ニーズに基づき、今後の方向性を見極め、潮見坂平和公園の整備方針を検討するため、申込数の現状分析、今後の需要予測及びアンケートの分析を行ったものです。

【お墓に関する意識調査アンケート概要】

- ① 調査対象及び人数
春日井市在住で2019年4月1日現在満30歳～79歳の男女1,000人
- ② 抽出方法
住民基本台帳から10歳ごとの年齢人口比に応じて無作為抽出
- ③ 調査方法
郵送調査法
- ④ 調査期間
2019年5月31日(金)～6月14日(金) 15日間
- ⑤ 回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000	424	42.4%

※ アンケート調査票及び集計結果については、資料編『Ⅱ お墓に関する意識調査アンケートについて』に収録

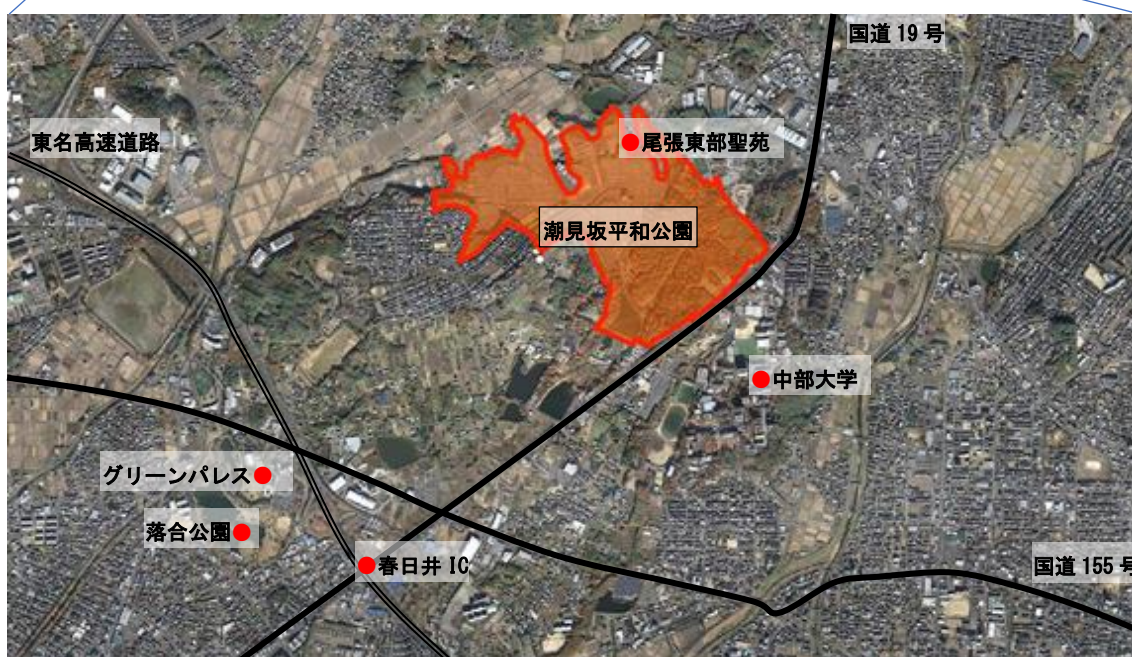
(3) 諸条件の整理

① 立地

潮見坂平和公園は、春日井市中央部北端の丘陵部にあり、自然環境に恵まれ、豊かな緑に囲まれた、静かで落ち着いた公園です。

土地条件としては、山林を造成して標高 71m～89mの墓地区域として整備しているため、なだらかですが段差の存在する形状となっています。

また、交通条件としては、南方 1.5km には東名高速道路春日井 IC が立地し、南東部が国道 19 号に隣接する等自動車でのアクセスに良好な環境にあります。



出典：道風くんの春日井マップ 案内図/春日井市庁内 GIS 航空写真

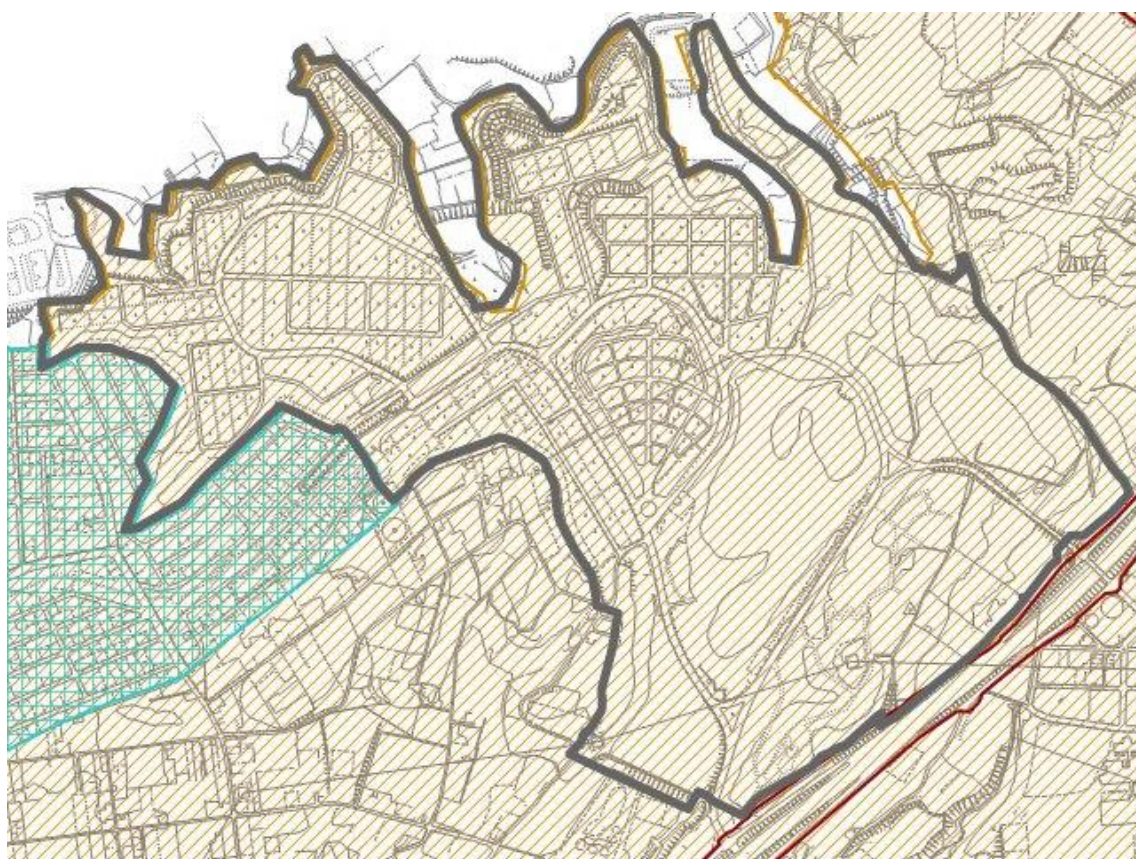
② 都市計画

ア 都市計画法

潮見坂平和公園は、市街化調整区域内に位置します。本公園は、1966年3月16日建設省告示711号で都市計画事業の認可を受けています。




イ 都市公園

本公園は、1982年(昭和57年)に都市公園に指定されています(供用開始)。



出典：道風くんの春日井マップ 都市計画情報

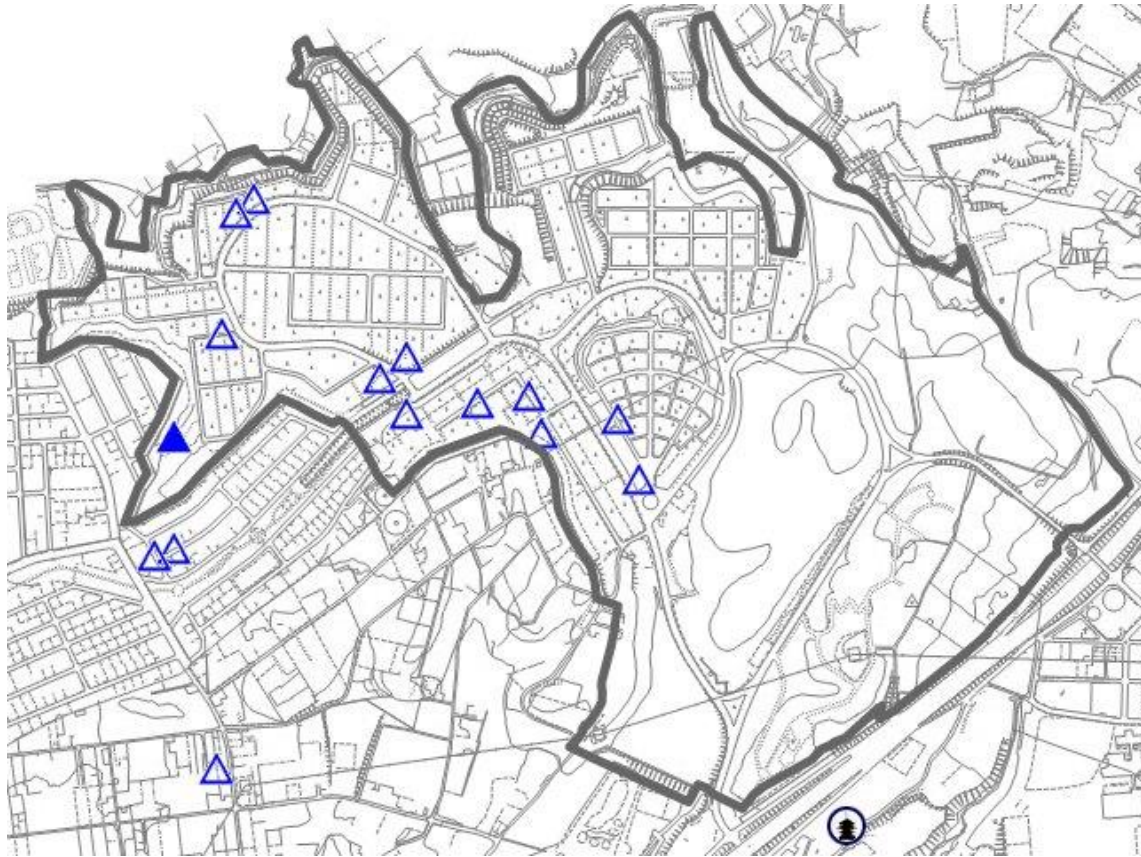
表 2 都市計画情報凡例

凡例		宅地造成工事規制区域
		(旧)住宅地造成事業に関する法律により認可を受けた区域
		都市計画道路

③ 文化財

潮見坂平和公園周辺の遺跡分布図は、以下のとおりです。

▲の遺跡の付近は、埋蔵文化財包蔵地となっています。



出典：道風くんの春日井マップ 遺跡分布図

表 3 遺跡分布図凡例

▲	窯業遺跡・生産遺跡
△	窯業遺跡・生産遺跡（滅失）
③	指定・登録文化財

④ 自然環境

潮見坂平和公園の墓園以外の敷地には、豊かな自然環境が残っており、下図のような植生になっているほか、ヒメカンアオイやオオタカといった珍しい動植物も見られます。



出典：平成 18・19 年度 自然環境保全地区等候補地に係る自然環境調査報告（概要版）

2 潮見坂平和公園の施設の現状

(1) 潮見坂平和公園の区画数

- ① 墓所区画数 22,985 区画
うち貸付区画数 21,734 区画

表 4 区画数

(2020年3月31日現在)

	供用開始 年度	区画数	内訳				
			2 m ²	3 m ²	4 m ²	6 m ²	その他
第 1 墓所	1966	2,219		1	730	1,037	451
第 2 墓所	1967	3,984			2,105	1,296	583
第 3 墓所	1969	4,781	30		578	3,568	605
第 4 墓所	1974	2,769			608	1,893	268
第 5 墓所	1979	3,572	9		2,698	751	114
第 6 墓所	1993	2,595			2,571	24	
第 7 墓所	2003	2,642		1,461 新 76	953 新 152		
芝生墓所	1973	423					423
計		22,985	39	1,538	10,395	8,569	2,444

表 5 残り区画数

(2020年3月31日現在)

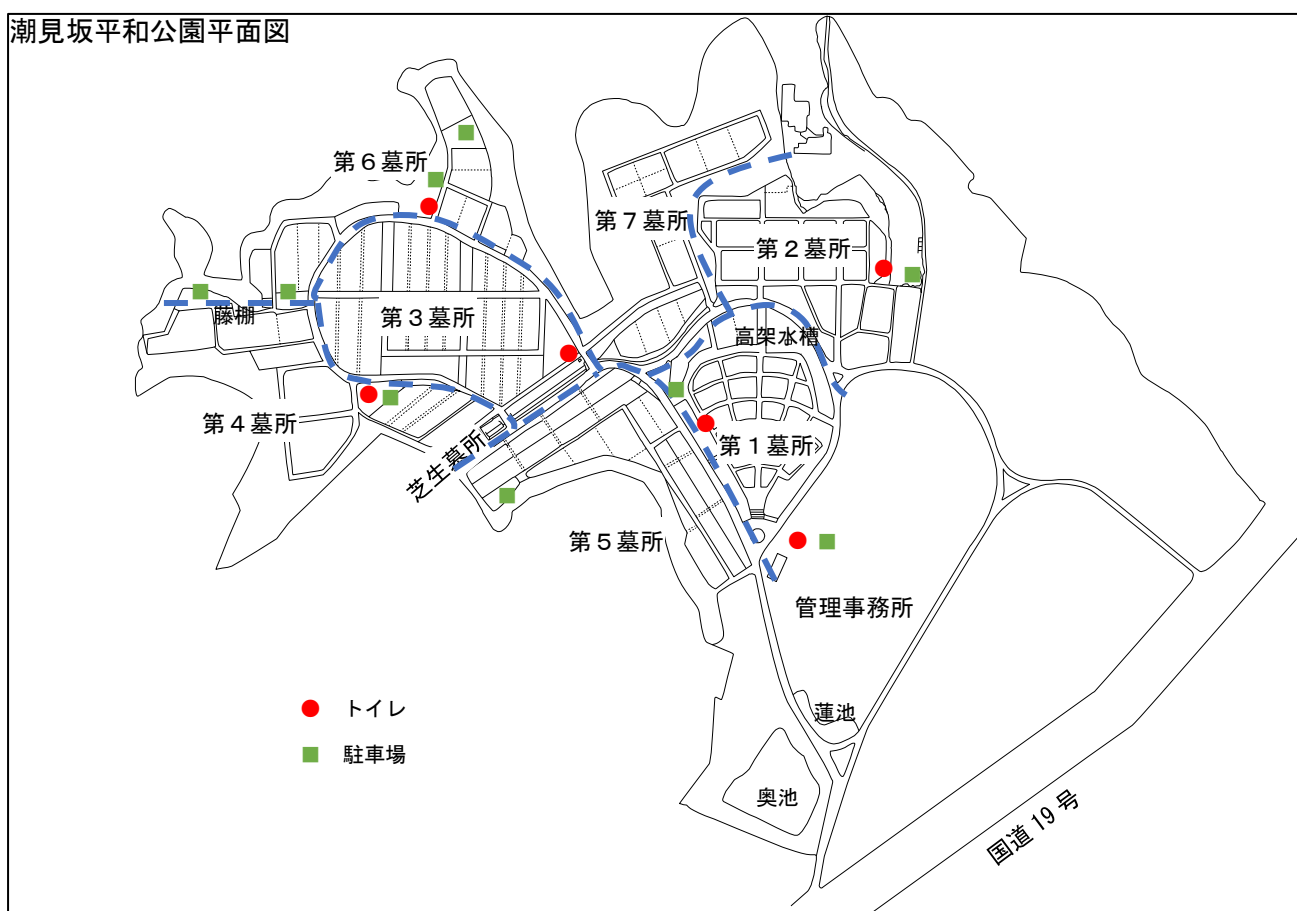
	供用開始 年度	区画数	残り区画数					計
			2 m ²	3 m ²	4 m ²	6 m ²	その他	
第 1 墓所	1966	2,219			25	29	9	63
第 2 墓所	1967	3,984			125	78	19	222
第 3 墓所	1969	4,781	12		20	220	38	290
第 4 墓所	1974	2,769			24	84	9	117
第 5 墓所	1979	3,572	3		152	63		218
第 6 墓所	1993	2,595			102	1		103
第 7 墓所	2003	2,642		4 新 76	5 新 152			237
芝生墓所	1973	423					1	1
計		22,985	15	80	605	475	76	1,251

※ 表 4 及び表 5 中、数字の前に「新」と注記のある区画は、新規区画。

区画数は、4㎡の区画、6㎡の区画の順に多くなっています。比較的新しい2003年度(平成15年度)に整備された第7墓所から3㎡の区画を募集しており、2018年度(平成30年度)からは2㎡の区画の募集も始めています。

残り区画数については、面積で見ると4㎡と6㎡の区画が多く残っています。また、墓所の場所で見ると、第2墓所、第3墓所及び第5墓所が多く残っています。

- ② トイレ 6箇所
- ③ 給水施設 135箇所
- ④ 駐車場台数 150台
- ⑤ その他 高架水槽、藤棚、蓮池



(2) 潮見坂平和公園の園内施設

① 給水施設

水道水を、2か所のポンプからいったん高架水槽に貯め、その後墓園内全域に給水しています。

1989年度(平成元年度)に高架水槽の建替工事を実施した以外は、給水施設への大規模な改修等を行っておらず、全体的に老朽化が進んでいます。2013年度(平成25年度)からは、4年に1度、管路の状況調査を行っていますが、年に1、2回の頻度で、漏水が発生しています。

高架水槽 1箇所
ポンプ場 2箇所
給水施設(水汲み場) 135箇所



高架水槽



給水施設(水汲み場)



漏水の事例

② 排水施設

墓参で使用された水や雨水を、潮見坂平和公園を横断する排水管に集め、施設外に排水しています。

1978年度(昭和53年度)に設置した後、管路の変形・損傷が見られたため、2004年度(平成16年度)から順次管路更生工事を行っています。また、約4年に1度、継続して状況を確認しており、損傷が進行している箇所から順次更生工事を行っています。

総延長

雨水排水管 HPΦ1500～Φ2200

管渠全延長 L=906.97m

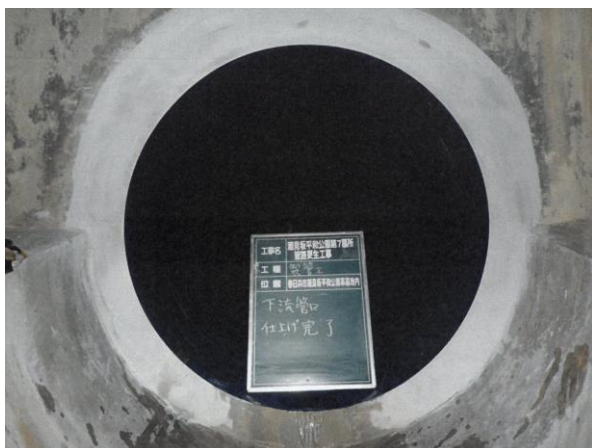
更生済延長 L=611.45m



損傷（ひび割れ）



更生工事



更生完了

③ トイレ

園内のトイレは、墓所の敷地増設に伴い増設してきました。

多目的トイレは、管理事務所駐車場に1箇所あります。その他のトイレは、すべて和式トイレでしたが、2019年度に第2墓所、第4墓所トイレにおいて洋式トイレに変更しました。

1966年度に設置された第1墓所トイレは、1969年度(昭和44年度)に設置された第3墓所トイレと同様に、特に老朽化が進んでいます。

表6 トイレの概要

場所	建築年度	構造	和式	洋式	多目的	備考
管理事務所駐車場トイレ	1996	RC	2		1	男1女1
第1墓所トイレ	1966	RC	5			男2女3
第2墓所トイレ	1991	RC		1		男女共用
第3墓所トイレ	1969	RC	1			男女共用
第4墓所トイレ	2006	RC		1		男女共用
第6墓所トイレ	2005	RC	1			男女共用



和式トイレ



洋式トイレ



多目的トイレ



管理事務所駐車場トイレ



第1墓所トイレ



第2墓所トイレ



第3墓所トイレ



第4墓所トイレ



第6墓所トイレ

④ 通路

潮見坂平和公園は、山林を切り開いて造成している関係上、園内で段差が多くみられます。また、区画を通路から高めに造成しているほか、雨水を側溝で排水するのではなく自然浸透するよう、通路が砂利敷となっている箇所が多くあります。

一方で、砂利敷の通路になっていることで、車椅子等の移動補助器具の利用が難しい箇所があります。また、歩行が困難な方のみならず、高齢化が進行することで、利用者の方がこれまで大丈夫だった段差を上り下りすることが難しくなっています。



園内通路（車道）から段差がある箇所が多く存在しています。このような場所には手すりを設置しています。



砂利敷の園内通路は、幹線通路等を一部アスファルト舗装しています。

3 潮見坂平和公園の課題

2019年11月に『潮見坂平和公園墓地需要予測及びお墓に関する意識調査アンケートの結果について』をまとめたところ、潮見坂平和公園の課題が明らかになりました。

(1) 墓地需要推計

春日井市及び潮見坂平和公園で必要となる墓地の数（墓地需要）を推計します。推計方法としては、墓地需要の把握で多くの地方自治体で使用されている「大阪府方式」を使用します。

大阪府方式では、その年の推定死亡者数のほかに、春日井市にこれからも住んでいきたいと考えている方の割合である「定着指向係数」、お墓を必要と考えている方の割合である「墳墓需要率」、1家族が1墓所を必要とするという考え方を前提として、分家していく割合である「傍系世帯率」を必要とします。

このうち、「墳墓需要率」と「傍系世帯率」はアンケートから、「定着指向係数」は第六次総合計画アンケート『市民意識調査』から採用すると次表のとおりになります。

表 7 墓地需要推計（大阪府方式）

年次	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
推定死亡者数	2,683	2,908	3,099	3,209	3,252	3,239
定着指向係数	0.874					
墳墓需要率	0.255					
傍系世帯率	0.271					
墓地需要 (市全体)	616	668	712	737	747	744
潮見坂平和公園 の墓地需要	88	96	102	106	107	107

大阪府方式では、次の式で墓地需要を推計します。

$$Q_i = Y_i \times S \times 1/2 (P + R)$$

Q_i …各年における墓地需要 Y_i …各年における死亡者数
 S …定着指向係数 P …墳墓需要率 R …傍系世帯率

前述の大阪府方式の計算式に各項を代入して計算すると、春日井市の墓地需要は年間約 600～750 程度と見込まれており、2040 年をピークとして需要が高くなるものと予想されます。また、2018 年の墓地需要と申込数の割合が 14.4%であったことから、潮見坂平和公園では毎年 88～107 区画の需要が発生すると見込まれます。

※ 墓地需要推計の詳細については、資料編『Ⅲ 潮見坂平和公園墓地需要予測について』に収録。

(2) 潮見坂平和公園の申込数

近年の潮見坂平和公園の申込数は、次表のとおりです。

申込みの傾向としては、次のことが言えます。

- ① 申込数が2017年度(平成29年度)に大きく減少した。
- ② 新規区画ばかりでなく返還区画にも申込みがある。
- ③ 面積の小さな区画が多いものの面積の大きな区画にも申込みがある。
- ④ 2018年度から募集を開始した2㎡の区画への申込みが増加傾向にあり面積の小さな区画への需要が高い。

表 8 近年の潮見坂平和公園の申込数内訳

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
新規区画の申込数	89	99	98	66	58	51
3㎡	86	86	90	56	54	49
4㎡	3	13	8	10	4	2
返還区画の申込数	27	27	23	20	28	37
2㎡	-	-	-	-	8	16
4㎡	15	17	14	8	8	10
5㎡	2	1	1	3	2	2
6㎡	8	8	7	6	7	5
その他の面積	2	1	1	3	3	4
申込数計	116	126	121	86	86	88

(3) 申込者が望むお墓のあり方

アンケートにおいて、問3で「先祖のお墓を守る立場にある」とお考えの方が56.1%であったことから、多くの方がお墓の所有、維持管理について肯定的に捉えていることがわかりました。

また、問6でお墓を持っていない方が「お墓を取得するときに最も重視する事項」は、「お墓の値段、維持管理費」が30.8%で最も多かったことから、費用面を重視する方が多いと言えます。

以上のことから、今後のお墓の申込みについて、次のことが言えます。

- ① 自分がお墓を守るべき立場にあると考える方が多いことから、お墓の新規需要が急速になくなることは考えづらく、当面は現在と同程度の申込みがあると思われる。
- ② 新しくお墓を持ちたい方は、費用を重視する割合が多いことから、区画そのものの費用に加え、墓石の量も少なく済む面積の小さな区画の方が、需要があると思われる。

※ 資料編『Ⅱ お墓に関する意識調査アンケートについて』より表を割合順に変更して抜粋。

(回答者の立場)

問3 あなたは、先祖のお墓を守る立場にあると思いますか。(○はひとつ)

表16 問3のアンケート集計結果(n=424)

回答	回答数	割合
そう思う	238	56.1%
そう思わない	115	27.1%
わからない	64	15.1%
無回答・不明・無効	7	1.7%

(回答者の墓地所有状況)

問4 あなたは自分が入ることのできるお墓等がありますか。(○はひとつ)

表17 問4のアンケート集計結果(n=424)

回答	回答数	割合
潮見坂平和公園以外にある	156	36.8%
お墓等はない	150	35.4%
潮見坂平和公園内にある	101	23.8%
購入を検討中	9	2.1%
その他	5	1.2%
無回答・不明・無効	3	0.7%

(お墓選びの視点)

問6 『お墓等はない』又は『購入を検討中』に○をつけた方にお聞きします。お墓を取得するときにもっとも重視する事項は何ですか。(○はひとつ)

【問4で『お墓等はない』又は『購入を検討中』を選択した場合のみ回答】

表19 問6のアンケート集計結果(n=159)

回答	回答数	割合
お墓の値段、維持管理費	49	30.8%
お墓は不要	46	28.9%
こだわりはない	19	11.9%
交通の便	14	8.8%
申し込みたい形式のお墓があるか	9	5.7%
運営者の信頼感及び安心感	8	5.0%
園内の雰囲気及び周辺環境	4	2.5%
宗教・宗派	1	0.6%
その他	4	2.5%
無回答・不明・無効	5	3.1%

(4) 将来的なお墓の維持管理に対する不安

アンケートにおいて、お墓を持っている方のうち「お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいかせること）に不安がある」という方が59.9%あることから、少子化・生涯未婚率の上昇が進む中で、これまでどおりにお墓を守っていけるかどうか不透明感を感じている方が多いようです。

※ 資料編『Ⅱ お墓に関する意識調査アンケートについて』より抜粋。問4でお墓を持っている旨回答した方に対する設問です。

問5 『潮見坂平和公園内にある』又は『潮見坂平和公園以外にある』に○をつけた方にお聞きします。あなたは、お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいかせること）に不安はありますか。（○はひとつ）

【問4で『潮見坂平和公園内にある』又は『潮見坂平和公園以外にある』を選択した場合のみ回答】

表18 問5のアンケート集計結果(n=257)

回答	回答数	割合
ある	154	59.9%
ない	63	24.5%
わからない	35	13.6%
無回答・不明・無効	5	1.9%

現在の潮見坂平和公園の施設構成では、お墓の維持に不安がある方にはお墓を更地にしてもらい、他の墓所に移ってもらったうえで返還してもらうこととなります。

表9では、墓所の返還をした方がどのような理由で返還したかを表にしています。「転居」したことや「遠方」であることを理由として返還する使用者もいますが、「永代供養」（永代管理）のお墓に移すためであったり、「後継者なし」を理由として返還する使用者が増えてきています。

今後、お墓を継ぐことのできる方が減少していくと推測されますので、こうした方々に対応する施設を整備することは喫緊の課題であると考えられます。

表 9 過去5年間における墓所の返還理由

年度	他墓所	永代供養	後継者なし	転居・遠方	不要	その他	計
2015	20	47	9	25	21	1	123
2016	11	54	12	16	11	0	104
2017	13	73	14	19	26	0	145
2018	25	63	28	15	21	1	153
2019	17	117	32	16	37	0	219

4 再整備計画

(1) 再整備の方向性

本市の墓地の現状と課題を踏まえ、次のように墓地整備の方向性を定めます。

—墓地整備の方向性—

将来にわたって、誰もが安心して利用できる墓地

(2) 再整備の基本方針

この墓地整備の方向性を基にして、以下の3つの基本方針を定め、整備を推進します。

I 永続的で安定した墓地の運営

潮見坂平和公園では、1966年度から普通墓所を提供しています。今後も、安定して普通墓所の提供を行っていくことで将来にわたって公平に取得できるようにします。また、老朽化した園内施設の改修・更新についても、計画的に実施することで費用を抑え、永代使用料及び永代清掃料による安定した運営ができるようにします。

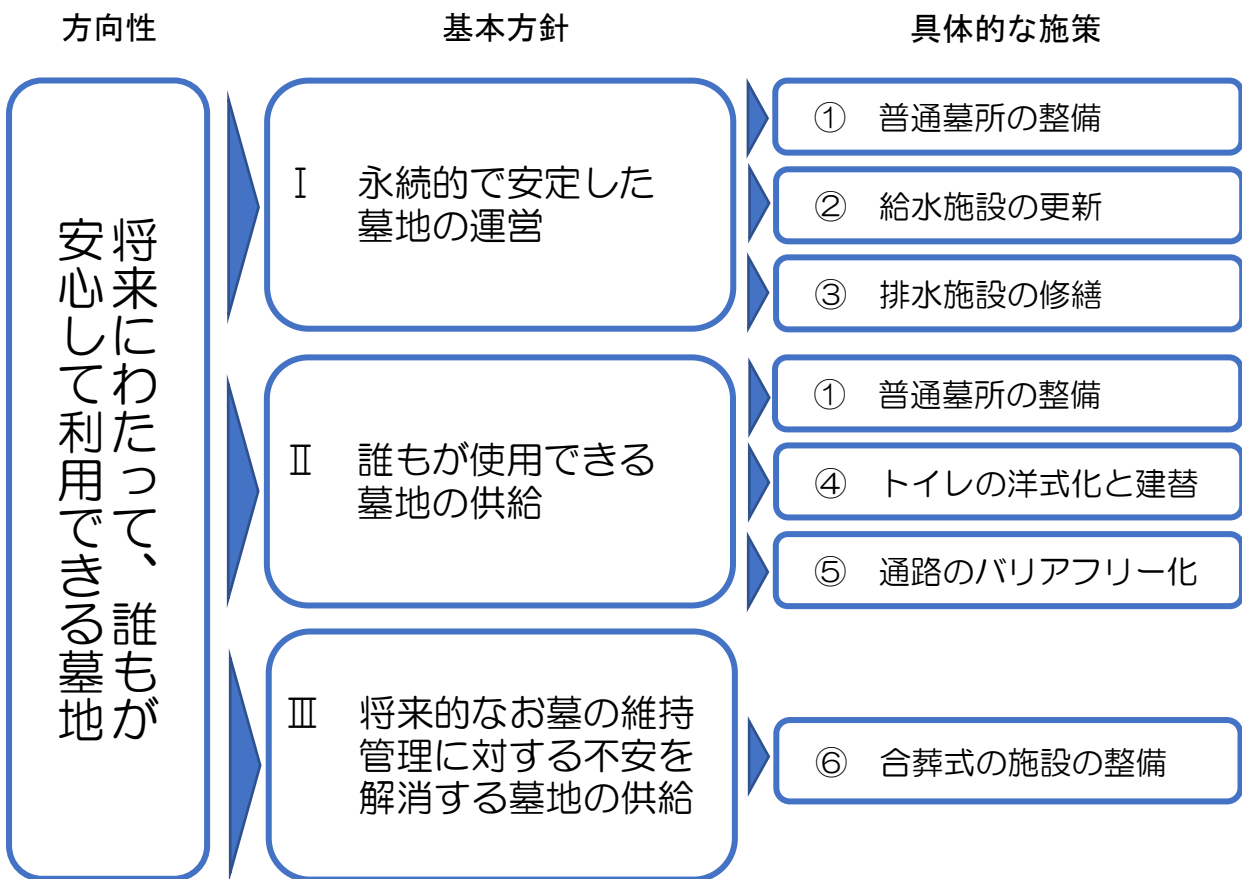
II 誰もが利用できる墓地の供給

今後も、安定して普通墓所の提供を行っていくことに加え、利用者の負担の少ない安価な区画として、従来よりも面積の小さな区画を整備します。また、高齢の方や障がいを持つ方にも利用しやすいよう、通路やトイレなどの施設をバリアフリー化し、使いやすさを向上します。

III 将来的なお墓の維持管理に対する不安を解消する墓地の供給

お墓をお持ちの方の多くが「お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいかせること）に不安がある」と回答しています。さらに、加齢等によりお墓の清掃等の管理が大変になったと考える方や、子どもや孫に面倒をかけたくないと考える方もいますので、将来的なお墓の維持管理に対する不安等を解消するために、合葬式の施設を整備します。

再整備計画（体系図）



(3) 具体的な施策

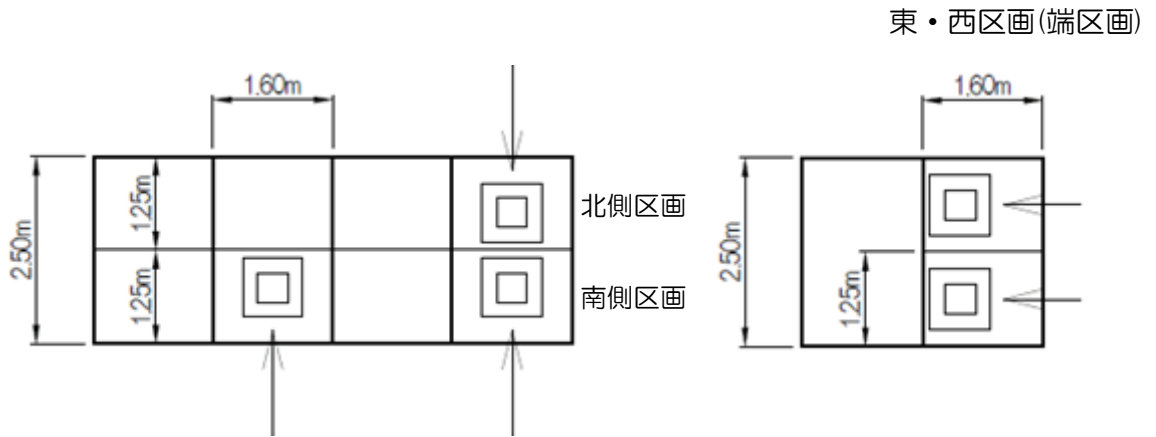
① 普通墓所の整備

今後も、安定して普通墓所の提供を行っていくことで将来にわたって公平な取得機会を担保します。また、利用者の金銭的負担の少ない安価な区画として、従来よりも面積の小さな区画を次のとおり整備します。

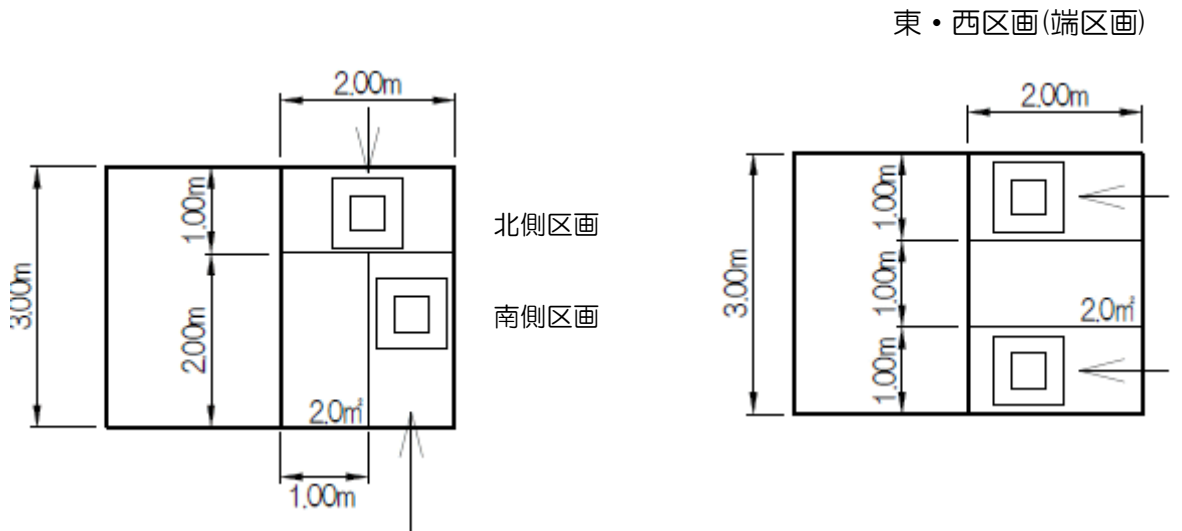
ア 第7墓所の1区画4㎡の新規区画の一部を2㎡2区画に分割して募集する。

イ 返還区画のうち1区画4㎡及び6㎡の一部区画を、1㎡、2㎡又は3㎡に分割し募集する。

・ 4㎡区画の分割例



・ 6㎡区画の分割例



→ 墓参方向

新たな区画の整備については、第7墓所に1区画3㎡及び4㎡の新規区画が2020年(令和2年)3月末現在で228区画残っていることや、返還区画を1区画1㎡、2㎡又は3㎡に分割した区画の募集を行うことで、今後数年間の申込みに対しては十分対応できると考えられます。また、仮に想定を超えた申込みがあった場合にも第7墓所の未整備部分をこれに充てることで対応できることから、当面新規の墓所の整備は、行わないこととします。

ただし、返還区画が近隣である程度まとまった場合は、緑地の設置や区画レイアウト変更等のリニューアルを行うことで、新たな区画として募集を行うこととします。近隣に使用中の区画がある場合は、改装面積を広げるために市が補償を行うことにより墓所を移転してもらうことも検討します。

② 給水施設の更新

給水施設については、管路の更新等、大がかりな改修が必要となります。そのため、2019年度に潮見坂平和公園給水施設基本計画を策定しました。今後は、墓所ごとに具体的な実施設計を行ったうえで、更新工事を進めていきます。

表 10 各墓所の設置年度と水道管更新延長

	第1墓所	第2墓所	第3墓所	第4墓所	第5墓所	第6墓所	第7墓所	計	
設置年度	1966	1967	1969	1974	1979	1993	2003		
更新年度の目安	2016	2017	2019	2024	2029	2043	2053		
延長(m)	φ75	340	0	0	0	150	0	0	490
	φ50	60	100	620	0	320	510	180	1,790
	φ40	0	190	0	0	0	0	800	990
	φ25	150	390	180	980	170	10	0	1,880
	φ20	0	110	0	0	120	0	0	230
	φ13	0	40	0	0	0	50	0	90
	不明	220	380	340	110	530	490	300	2,370
	計	770	1,210	1,140	1,090	1,290	1,060	1,280	7,840

※更新年度の目安は、耐用年数を50年として算出したもの。

③ 排水施設の修繕

現在行っている雨水管の管路更生工事については、2020年度に実施する工事をもって、損傷が進行していると思われる箇所の管路更生が終了しますが、今後も数年に一度損傷状況の確認を行い、更生していない箇所の損傷が進行するようであれば、順次修繕工事を行うこととします。

④ トイレの洋式化と建替

現在ある和式トイレを順次洋式トイレに変更するとともに、通路から段差なしで利用できるようにします。

また、建築年度の古い第1墓所トイレと第3墓所トイレについては、建物の状況を見ながら建替を検討し、第3墓所トイレについては、多目的トイレを設置します。

表 11 トイレの建築年度

場所	構造	建築年度	更新年度の目安
管理事務所駐車場トイレ	RC	1996	2046
第1墓所トイレ	RC	1966	2016
第2墓所トイレ	RC	1991	2041
第3墓所トイレ	RC	1969	2019
第4墓所トイレ	RC	2006	2056
第6墓所トイレ	RC	2005	2055

※更新年度の目安は、耐用年数を50年として算出したもの。

⑤ 通路のバリアフリー化

極力主要な通路を通して、車椅子で近くまで行くことができるよう、引き続きバリアフリー化と通路の整備を進めます。

墓地と通路の段差が小さな箇所については、バリアフリーになるよう手すりやスロープ等を設置します。

また、砂利敷の園内通路については、段差なしで墓所内に入ることができるよう、雨水流量に留意し、アスファルト舗装を整備します。

上記の対応を取ることができず近くまでアスファルト舗装ができない区画については、墓参に支障が生じているとの使用者の申出により区画の移転を認めることも検討します。



通路舗装前（砂利敷）



通路舗装後（アスファルト敷）

⑥ 合葬式の施設の整備

お墓を代々継いでいくことに不安のある方を始め、後継者がいなくなった方、加齢等によりお墓の清掃等の管理が大変になったと考える方及び子どもや孫に面倒をかけたくないと考える方の不安を解消するために、合葬式の施設（以下「合葬墓等」という。）を整備します。

形状としては、円型又は角形の施設で、シンボル（献花台）を設置することとし、公共団体の施設として、比較的安価な施設であることとします。

また、樹木葬を希望する方も多いことから、施設内や施設付近に樹木等の緑を配置し、自然に還る要素を付加します。

なお、整備する場所については、大規模な造成が不要で、お骨の運搬が行いやすい管理事務所南東側を候補地とします。

その他具体的な納骨方法等は、今後、故人の尊厳が保たれるよう、また遺族の心情に寄り添うような方法を考えていきます。

※ 資料編『Ⅱ お墓に関する意識調査アンケートについて』より抜粋。

問7 潮見坂平和公園では、どのような施設を整備するとよいと思いますか。必要だと思ふものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

表 20 問7のアンケート集計結果(n=424)

回答	回答数	割合
納骨堂	176	41.5%
合葬墓	172	40.6%
樹木葬	167	39.4%
従来どおりのお墓	98	23.1%
芝生墓所	67	15.8%
その他	8	1.9%
無回答・不明・無効	35	8.3%



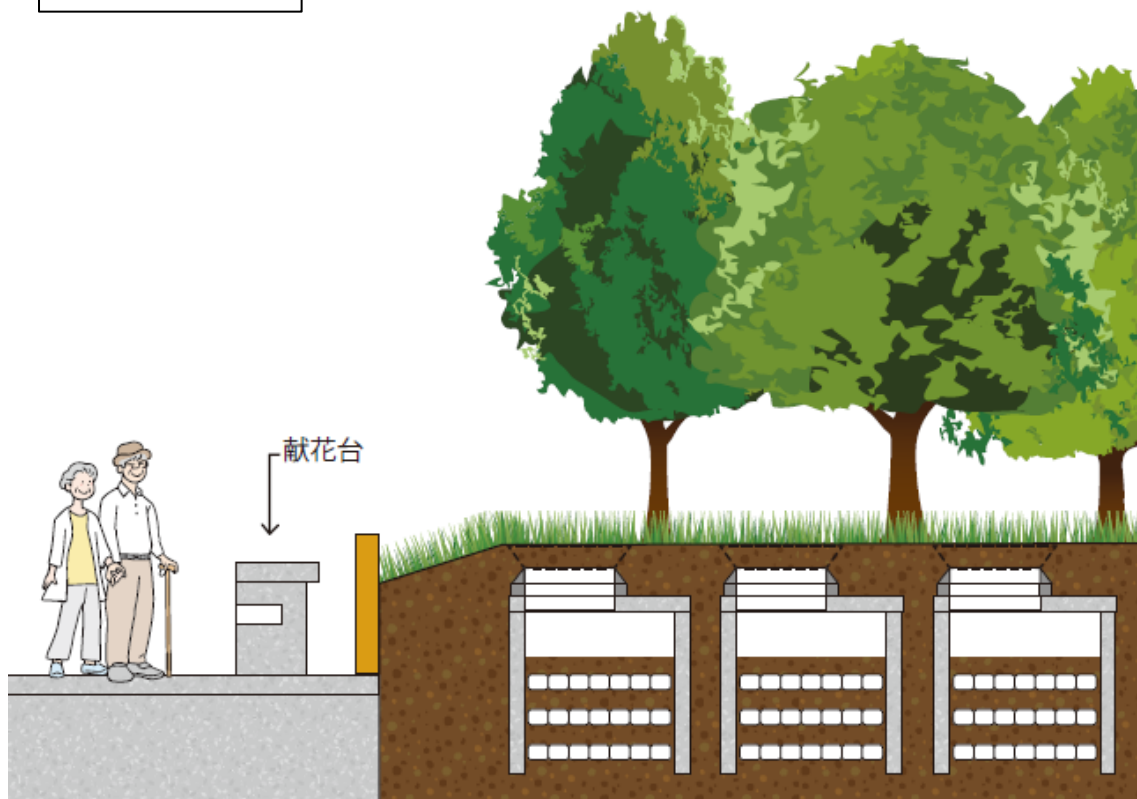
出典：春日井市庁内 GIS 航空写真

設備等については、次のことを基本とします。

- ア お骨の収容場所は、既製マンホールを使用するものとします。
- イ 底面は土又は砕石に面するものとし、マンホール内には 1 体ずつ袋に移し替えて納骨します。
- ウ マンホール 1 基につき約 400 体納骨することとします。
- エ 現在の春日井市の死亡者は年間 2,500 人強であり、2030 年には 3,000 人を超えると予想されます。このうち年間 200 人が合葬墓に申し込むと考え、 $200 \text{ 人} \times 50 \text{ 年} = \text{約 } 10,000 \text{ 体}$ 納骨可能な合葬墓等を建立するものとします。なお、想定よりも申込者数が多い場合は、合葬墓等を増設し、需要に応えるものとします。
- オ 市外の方については、市内の方を圧迫しない範囲で、既存の墓所区画同様 1.5 倍の使用料で受付することを検討します。
- カ 合葬式施設の付近に駐車場を整備します。

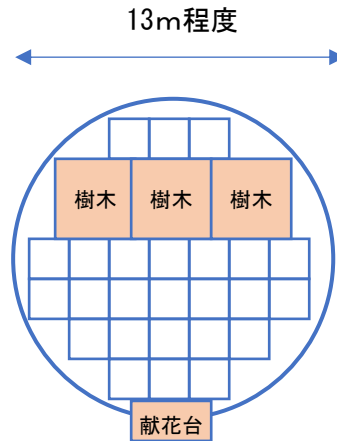
断面イメージ

施設内や施設付近に
樹木等を設置する。



お骨を一体ずつ布袋に入れて、合葬する。
お骨の収容場所は、角形の既製マンホール
を利用し、底面は土又は碎石とする。

形状案1 合葬墓等(円型)



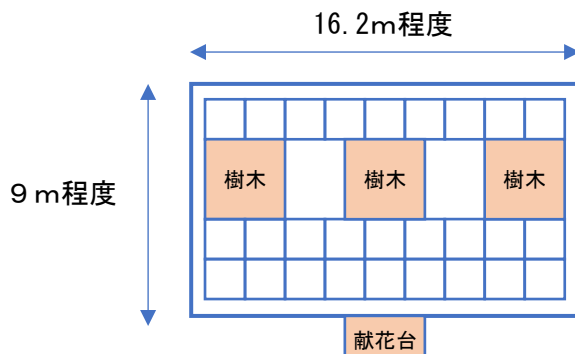
□：既製マンホール

※マンホールの寸法を1.8m×1.8mとして計算

400体×25基=10,000体
 横幅・奥行：7列×1.8m=12.6m
 面積：半径6.5mとして132.67㎡

参考例：磐田市、宇都宮市、長久手市

形状案2 合葬墓等(角形)



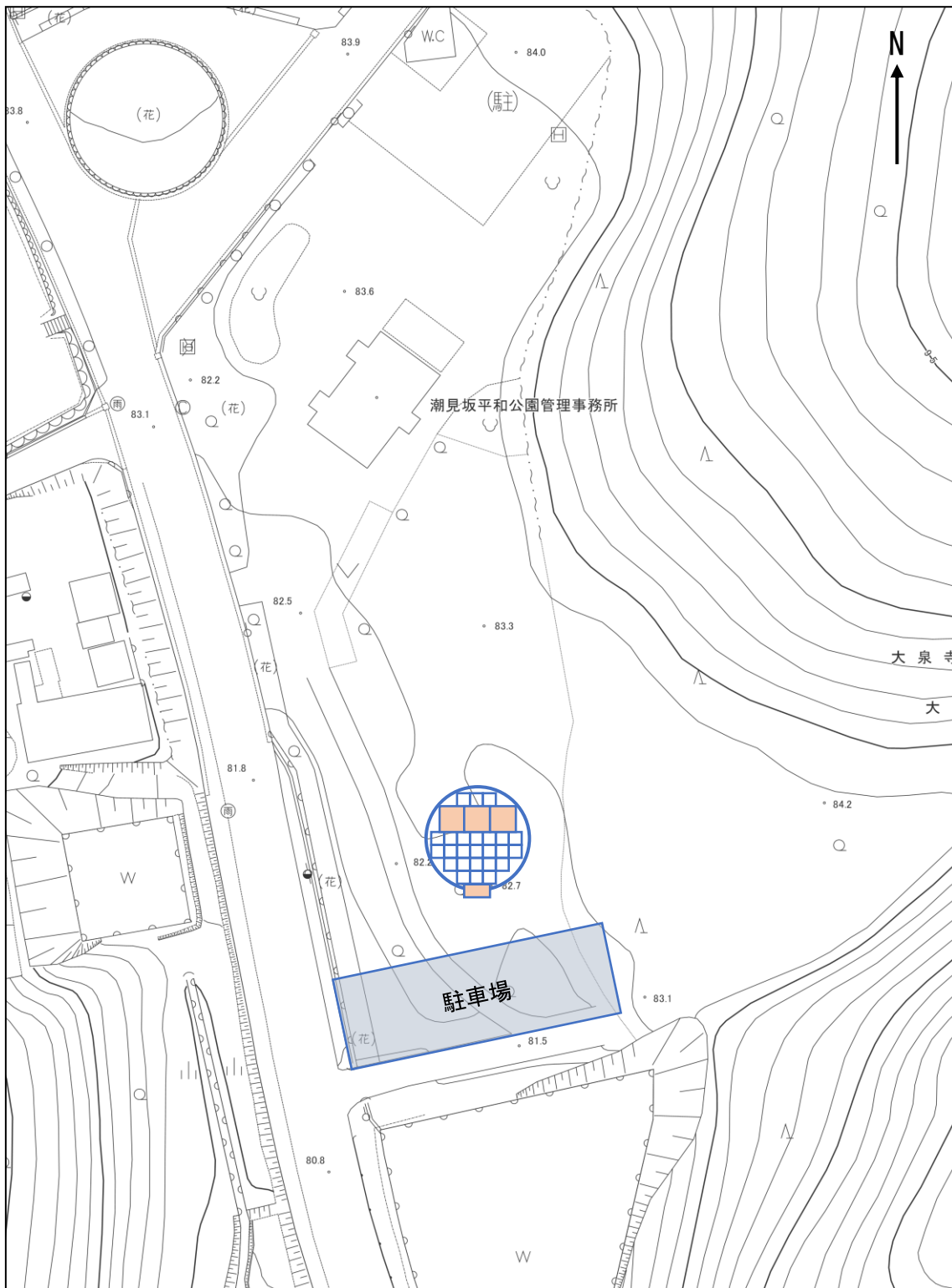
□：既製マンホール

※マンホールの寸法を1.8m×1.8mとして計算

400体×27基=10,800体(お骨の収納場所 9列3段(+樹木が約2段分))
 横幅：9列×1.8m=16.2m 奥行：5段×1.8m=9m
 面積：16.2m×9m=145.8㎡

参考例：浦安市、さいたま市

設置場所案



出典：春日井市庁内 GIS 都市計画基本図

5 具体的な施策のスケジュール

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
① 普通墓所の整備	1～3㎡への墓地区画分割				
② 給水施設の更新	第1墓所 給水管更新	第2墓所 給水管更新	漏水調査	第3墓所 給水管更新	
③ 排水施設の修繕		損傷の進行 状況確認			
④ トイレの洋式化と建替		トイレ建替 実施設計	第3墓所 トイレ建替	第1墓所 トイレ建替	
⑤ 通路のバリアフリー化	段差解消及びアスファルト舗装				
⑥ 合葬式の施設の整備	実施設計	設置工事	供用開始		

2026年度以降のスケジュールについては、施設の利用状況等を踏まえ、適宜、更新することとします。

I 検討の経緯と市民意見公募について

1 検討の経緯

時期	内容
2019年5月31日から 6月14日まで	お墓に関する意識調査アンケートを実施
2019年11月	春日井市議会建設委員会に『潮見坂平和公園墓地需要予測及びお墓に関する意識調査アンケートの結果について』を提出
2020年8月	春日井市議会建設委員会に『春日井市平和公園再整備計画（中間案）』を提出
2020年9月4日から 10月5日まで	市民意見公募（パブリックコメント）を実施

2 市民意見公募（パブリックコメント）

(1) 募集案内

広報（2020年9月1日号）及び春日井市ホームページ

(2) 募集期間

2020年9月4日から10月5日まで

(3) 公表方法

「春日井市潮見坂平和公園再整備計画（中間案）」を市の施設（潮見坂平和公園、公園緑地課、市役所情報コーナー、東部市民センター、坂下出張所、各ふれあいセンター、各公民館）に設置するとともに、春日井市ホームページに掲載

(4) 募集方法

直接、郵送、ファクシミリ又は電子メールで意見、住所及び氏名を記載して提出

(5) 募集結果

提出者数0名（件数0件）

Ⅱ お墓に関する意識調査アンケートについて

1 アンケート調査の概要

(1) アンケート名

お墓に関する意識調査アンケート

(2) 調査目的

市民の墓地に関する考え方や意見を把握し、今後の市民ニーズに対応した墓地の整備を進める資料とするもの。

(3) 調査対象及び人数

春日井市在住で2019年4月1日現在満30歳から79歳までの男女1,000人を対象とした。

(4) 抽出方法

住民基本台帳から10歳ごとの年齢人口比に応じて無作為抽出した。

表 12 年齢帯ごとの抽出者数

年齢帯	年齢別 人口	年齢 人口比	抽出人数	
			うち男性	うち女性
30～39歳	37,048人	18.6%	186人	93人
40～49歳	50,993人	25.6%	256人	128人
50～59歳	37,924人	19.0%	190人	95人
60～69歳	34,253人	17.2%	172人	86人
70～79歳	39,063人	19.6%	196人	98人
計	199,281人	100%	1,000人	500人

(5) 調査方法

郵送調査法

(6) 調査期間

2019年5月31日（金）～6月14日（金） 15日間

(7) 回収状況

表 13 アンケートの回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000	424	42.4%

(8) 報告書の見方

ア 回答結果の割合「%」は母集団nに対して、それぞれの回答数の割合を小

数点以下第2位で四捨五入したもの。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100%にならない場合がある。

イ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示す。そのため、合計が100%を超える場合がある。

ウ 図表中において「無回答・不明・無効」とあるものは、回答が示されていない、回答の判別が困難、又は単数選択の設問で複数選択する等の無効な回答のあったものを示す（グラフ中では「無回答」と表記する）。

エ 図表中の「n」は、各設問の母数を表す。

2 アンケート集計結果

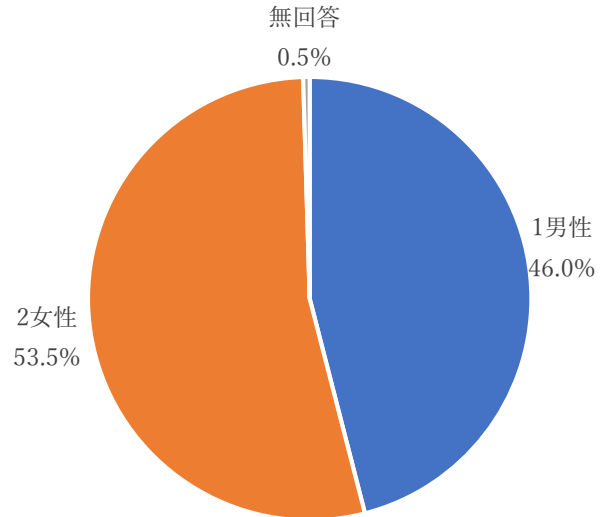
(回答者の性別)

問1 あなたの性別は。(○はひとつ)

表 14 問1のアンケート集計結果(n=424)

	回答	回答数	割合
1	男性	195	46.0%
2	女性	227	53.5%
	無回答・不明・無効	2	0.5%

- 回答は女性の方が多く 53.5%、男性は 46.0% となった。



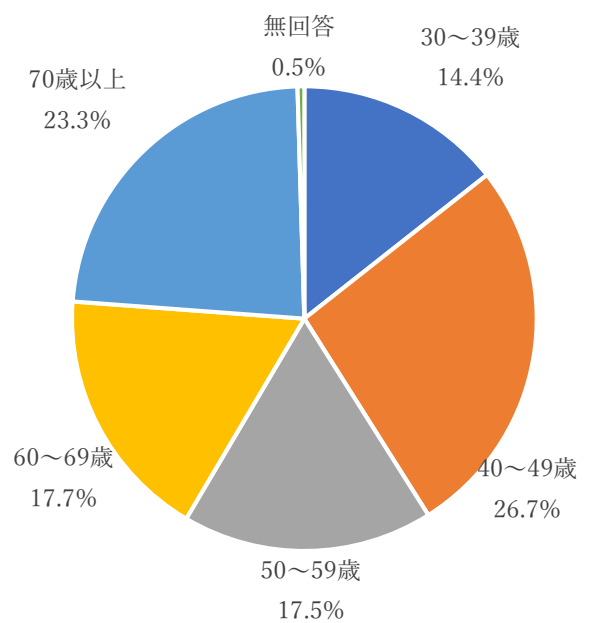
(回答者の年齢)

問2 あなたの年齢は。(○はひとつ)

表 15 問2のアンケート集計結果(n=424)

	回答	回答数	割合
1	30～39歳	61	14.4%
2	40～49歳	113	26.7%
3	50～59歳	74	17.5%
4	60～69歳	75	17.7%
5	70歳以上	99	23.3%
	無回答・不明・無効	2	0.5%

- 回答をいただいた年齢では、40～49歳の方がもっとも多く 26.7%、次に多かったのは70歳以上で 23.3%となった。

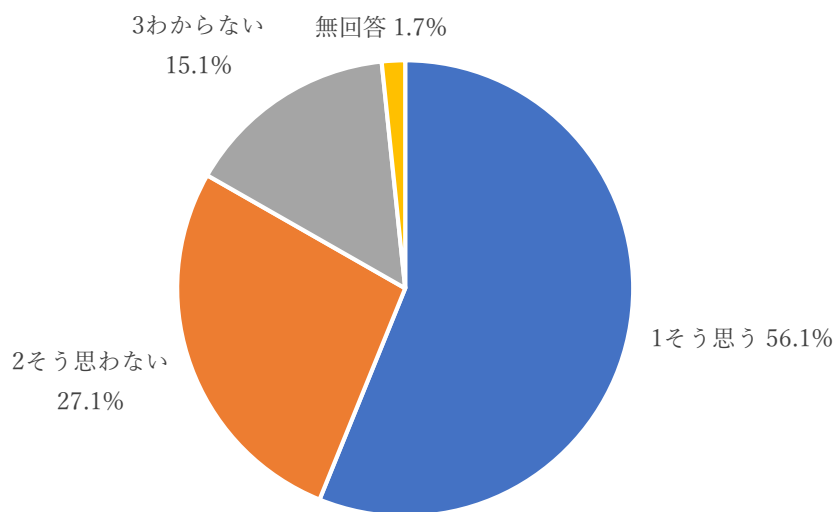


(回答者の立場)

問3 あなたは、先祖のお墓を守る立場にあると思いますか。(○はひとつ)

表 16 問3のアンケート集計結果(n=424)

	回答	回答数	割合
1	1 そう思う	238	56.1%
2	2 そう思わない	115	27.1%
3	3 わからない	64	15.1%
	無回答・不明・無効	7	1.7%



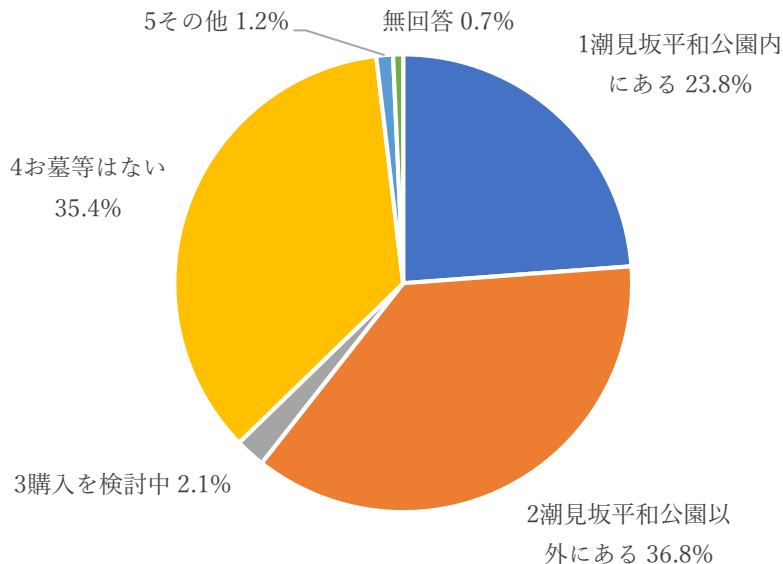
- 「そう思う」を選択した 56.1%の方は、直系世帯に相当すると考えられ、「そう思わない」を選択した 27.1%の方は、傍系世帯に相当すると考えられる。

(回答者の墓地所有状況)

問4 あなたは自分が入ることのできるお墓等がありますか。(○はひとつ)

表 17 問4のアンケート集計結果(n=424)

	回答	回答数	割合
1	潮見坂平和公園内にある	101	23.8%
2	潮見坂平和公園以外にある	156	36.8%
3	購入を検討中	9	2.1%
4	お墓等はない	150	35.4%
5	その他	5	1.2%
	無回答・不明・無効	3	0.7%



【その他の主な回答】

- ・墓は不要。自然に帰すれば良い。
- ・お墓はどうしたらよいか分からない。話したことがない。
- ・結婚先の家の墓には入りたくない。
- ・実家に墓はあるが、いずれは購入したい。

- 「潮見坂平和公園内にある」「潮見坂平和公園以外にある」を選択した 60.6%の方は、既にお墓を有している方である。
- 「購入を検討中」「お墓等はない」を選択した 37.5%の方は、現在お墓を有していない方である。

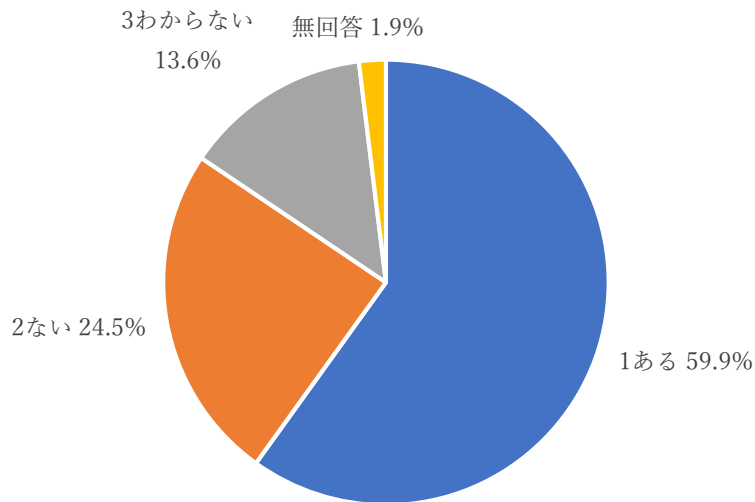
(承継に関する認識)

問5 1又は2に○をつけた方にお聞きします。あなたは、お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいかせること）に不安はありますか。（○はひとつ）

【問4で1又は2を選択した場合のみ回答】

表 18 問5のアンケート集計結果(n=257)

	回答	回答数	割合
1	ある	154	59.9%
2	ない	63	24.5%
3	わからない	35	13.6%
	無回答・不明・無効	5	1.9%



- 現在お墓を有している方の中で、将来お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいかせること）に不安を持っている方が 59.9%、不安はないという方は 24.5%となった。

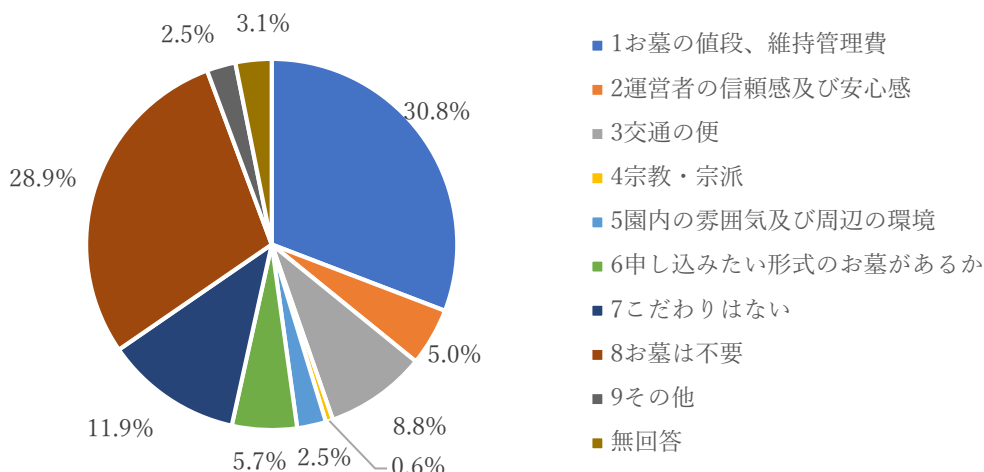
(お墓選びの視点)

問6 3又は4に○をつけた方にお聞きします。お墓を取得するときにもっとも重視する事項は何ですか。(○はひとつ)

【問4で3又は4を選択した場合のみ回答】

表 19 問6のアンケート集計結果(n=159)

	回答	回答数	割合
1	お墓の値段、維持管理費	49	30.8%
2	運営者の信頼感及び安心感	8	5.0%
3	交通の便	14	8.8%
4	宗教・宗派	1	0.6%
5	園内の雰囲気及び周辺的环境	4	2.5%
6	申し込みたい形式のお墓があるか	9	5.7%
7	こだわりはない	19	11.9%
8	お墓は不要	46	28.9%
9	その他	4	2.5%
	無回答・不明・無効	5	3.1%



【その他の主な回答】

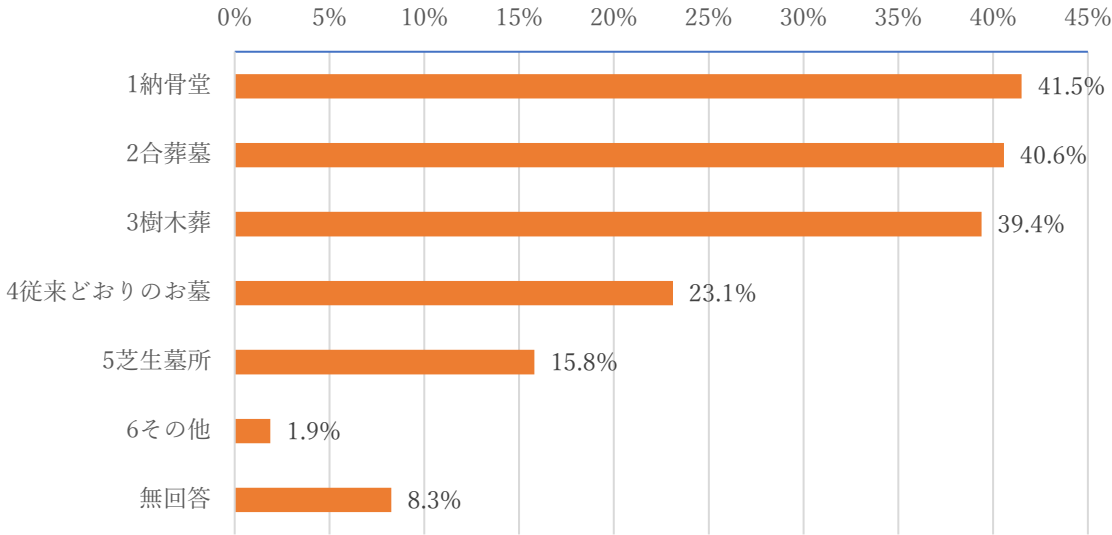
- ・子や孫に面倒をかけたくないので合葬墓が良いのではと思っている。
- ・他者（家族）の手をわずらわせないこと。
- ・共同墓地を希望

- 現在お墓を有していない方にお墓を取得するときにもっとも重視することをお聞きしたところ、「お墓の値段、維持管理費」30.8%、「お墓は不要」28.9%、「こだわりはない」11.9%の順となった。
- 「お墓は不要」と回答した3割弱の方は、今後もお墓を取得するつもりがないと考えられる。

問7 潮見坂平和公園では、どのような施設を整備するとよいと思いますか。必要だと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表 20 問7のアンケート集計結果 (n=424)

	回答	回答数	割合
1	納骨堂	176	41.5%
2	合葬墓	172	40.6%
3	樹木葬	167	39.4%
4	従来どおりのお墓	98	23.1%
5	芝生墓所	67	15.8%
6	その他	8	1.9%
	無回答・不明・無効	35	8.3%



【その他の主な回答】

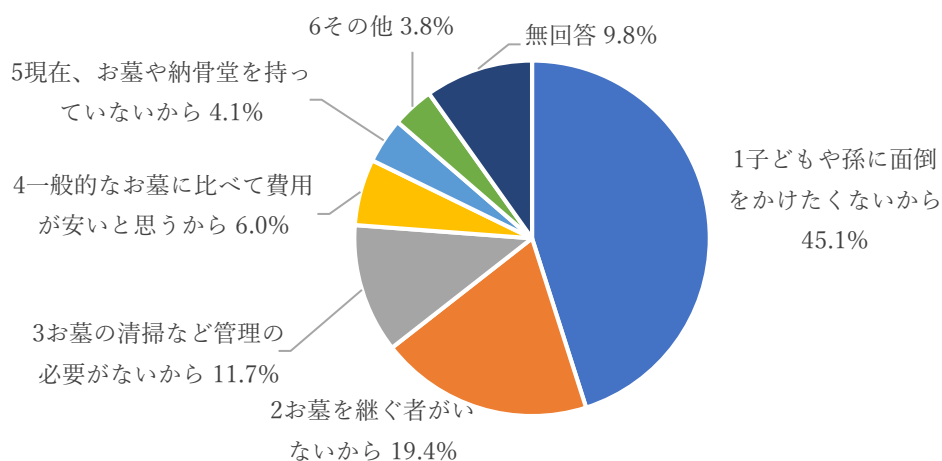
- ・自分の墓地で満足している。
- ・宇宙葬を希望
- ・散骨を希望
- ・わからない。

- 「納骨堂」、「合葬墓」、「樹木葬」といったこれまで潮見坂平和公園にない施設を整備した方がよいと考える方が、それぞれ40%前後となった。
- 「従来どおりのお墓」は23.1%、「芝生墓所」は15.8%となった。

問8 (1から3の施設が) 必要だと思う理由は何ですか。(〇はひとつ)
 【問7で1から3を選択した場合のみ回答】

表 21 問8のアンケート集計結果 (n=315)

	回答	回答数	割合
1	子どもや孫に面倒をかけたくないから	142	45.1%
2	お墓を継ぐ者がいないから	61	19.4%
3	お墓の清掃など管理の必要がないから	37	11.7%
4	一般的なお墓に比べて費用が安いと思うから	19	6.0%
5	現在、お墓や納骨堂を持っていないから	13	4.1%
6	その他	12	3.8%
	無回答・不明・無効	31	9.8%



【その他の主な回答】

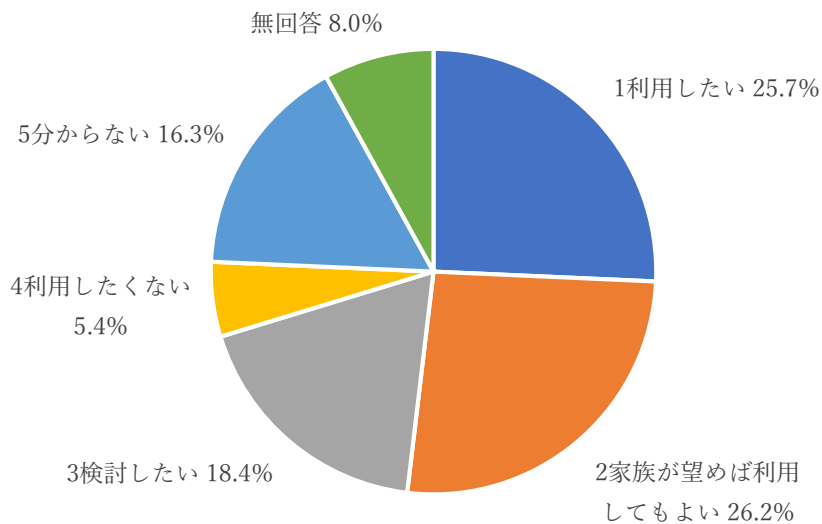
- ・金銭的問題や身寄の有無等
- ・墓所のあり方が多様化しているから。
- ・地元根付かない人が増え、墓を守る考え方も変わったと感じるから。
- ・お墓はあるが継ぐ者がいなくなった時のことを考えると必要だと思う。

●潮見坂平和公園にこれまでなかったお墓（納骨堂、合葬墓又は樹木葬）を整備した方がよいと回答した方に必要だと思う理由をたずねたところ、「子どもや孫に面倒をかけたくないから」45.1%、「お墓を継ぐ者がいないから」19.4%、「お墓の清掃など管理の必要がないから」11.7%の順になった。このことから、負担のかからないお墓が求められていると考えられる。

問9 春日井市に納骨堂、合葬墓又は樹木葬があれば、利用したいと思いますか。
(○はひとつ)

表 22 問9のアンケート集計結果 (n=424)

	回答	回答数	割合
1	利用したい	109	25.7%
2	家族が望めば利用してもよい	111	26.2%
3	検討したい	78	18.4%
4	利用したくない	23	5.4%
5	分からない	69	16.3%
	無回答・不明・無効	34	8.0%



- 「利用したい」、「家族が望めば利用してもよい」という方を足すと 51.9%、「検討したい」まで含めると 70.3%となり、これらの方は納骨堂、合葬墓又は樹木葬の利用に肯定的であると考えられる。

問 10 自由記入欄

●従来どおりのお墓について

- ・もう既に持っている。
- ・既に墓地があるため。
- ・現在は子どもも近くにおり、お墓参りもしてもらっている為、他の選択肢は考えていない。
- ・実家に墓があるので春日井市には必要ない。
- ・先祖の墓が近くにあるので墓参りなども歩いて行ける便利さがある。現在はそのままでも思っている。しかし、次世代となると墓への意識も変わってきているので次世代に任せたい。
- ・親が潮見坂平和公園に墓地を購入しておいてくれたので、そこを今後も使用する予定です。子どもが遠方に住んでいるが、長男夫婦がお墓を守ってくれると思っている。
- ・私の家では現状でいいと思っています。
- ・現在、代々のお墓があるので、他の墓園を利用することは、考えていません。
- ・現在お墓に両親と弟の納骨をしています。兄夫婦が墓地の永代使用料（費用）を払って管理しています。私も入るつもりです。
- ・親やお墓のある土地とは離れて生活していて、なかなかお墓参りにも行けず、システムもよくわかりません。高齢の親と、そろそろ話さないと、とは思っています。
- ・先祖代々の墓は必要だと思っていました。しかし、自分は両親の近くに住んでおり、お墓があっても面倒が見られますが、私の子どもが、私たちから遠い所で就職して生活をするようになったら、お墓の面倒を見るのが大変なので、お墓がない方がいいのかなと思うようになりました。
- ・一人っ子が増えたり、子どもが独立して他の地域へ行ったりと、従来型のお墓を継いでいくのは難しい時代になったと感じています。
- ・お墓は高い。
- ・墓の掃除も大変なのでいつもきれいになっていて拝みに行くだけが良い。従来どおりのお墓は望まない。

●納骨堂、合葬墓、樹木葬又は芝生墓所について

- ・宗派と同等の納骨堂があるとよい。
- ・お墓が遠方があるのでなかなか行けない。春日井市に納骨堂があれば検討したい。
- ・祖父、祖母のお墓がありますが、お墓を守っていく子孫がいないため、墓じまいを検討しております。春日井市も納骨堂が増えることを期待。
- ・土地もいるし、維持費もかかるので、お墓の形態も変化させてくのはいいことだと思う。結婚しない人も増えてるし、お墓の面倒を見てくれる人がいなくなる場合もあるので、納骨堂とかいいと思う。韓国ドラマでもよく見かけるが、初めは違和感があるが、そういうのが増えていけば、それが普通になる時代が来るかも。
- ・合葬墓を早い段階で作ってほしい。時間がありません。たくさんの方が利用します（絶対です）。
- ・毎年、昔からの寺から布施を言われるのをなくせるのなら、合葬墓は良いのかもしれない。
- ・先祖の墓は他県にあるが、自分達の代からは合葬の墓がいいと思う。
- ・先祖の墓は兄が守ってくれているので、自分は子どもも少なく遠くに住んでいるので合葬でよいと思っています。
- ・そもそも個人個人でお墓を管理していくことには、費用面や実際の面倒事などのことを考えるとムリがあると思う。合葬墓で充分だと思う。

- ・自分のお墓というのも他県にあり、娘だけであることを思うと、この先不安である。現実には上の様に合葬墓等にお世話になる可能性も考えられるところではあります。
- ・後継ぎがないため、夫を他寺の合同墓にお願いしました。私もそこに入ります。
- ・墓を建てることにより、子の負担が大きくならないかが懸念材料と思われる。個人的には樹木葬や散骨を考えている。
- ・先日テレビで樹木葬の特集を観て、家族形態の多様化→墓地の多様化という流れがあることを知りました。まだ先のことにはなりますが、こういった選択肢が増えていくことは有意義であると同時に必要性を感じます。
- ・先日、テレビの番組で樹木葬の特集を見ました。桜の木の下芝生には必ず誰かがお花をもってお参りに来るので、私のお墓に対する感じ方が大きく変化しました。時代の変化とともに、新しい施設の整備は必要だと思います。
- ・1人息子に障害があるため、お墓のお守りは望めません。テレビで見た樹木葬があれば、夫婦とも入りたいと思っています。
- ・昨年残念ながらお墓を当地に建てました。もし建ててなかったら樹木葬があればお墓を建立せずに樹木葬にしたいです。
- ・芝生墓所は統一性があり非常に良いと思います。
- ・芝生墓所を父母が生前、数十年前に購入。父母はそこに眠っており、時々墓参りに行きます。弟家族が守ってくれている。
- ・平和公園に墓地を持っているが、継ぐ人がいないので樹木葬、合葬墓を望む。
- ・地元が春日井ではない（家のお墓は地元であり、春日井は数年間のみ住む予定）なので、春日井市内でのお墓は検討しておりません。もし自分ひとりで（もしくは夫婦）用のお墓が必要になったら、子どもがいないので合祀か樹木葬に興味があります。
- ・継ぐ人がいない人にとっては、合葬墓・樹木葬の方が気楽です。
- ・継続者がいないのでお墓の必要性はないのですが、納骨はどうするの…と考えた時、納骨堂又は樹木葬が市内にあることがわかれば、利用したいと思います。
- ・単身世帯も増えています。夫婦であっても同じ墓に入りたいと思わない方もいると思います。納骨堂や樹木葬は時代のニーズだと思います。
- ・先祖代々の墓がある為、今の所、利用の予定はありませんが、なかったら自分は納骨堂に入れてもらいたいです。その後、何年かすれば合葬墓でいいです。
- ・私の先祖のお墓は公園内にありますが、お墓が必ずしも必要とは私自身考えておりませんが、納骨堂や合葬墓があればいいのにとずっと思ってた事。これからの時代一家に位置墓は必要ないでしょう。良いアンケートだと思います。ぜひ今後に期待します。
- ・若い世代にはお墓を守るという意識が変化していると思います。今後、樹木葬、芝生墓所などは受け入れやすいような気がします。
- ・夫の実家の墓が他県にありますが、遠方で、私は結婚で春日井に住みました。夫の実家の墓に入る予定はありません。私一人で樹木葬や芝生墓所に入りたいと考えています。他市に嫁いだ娘一代に面倒見てもらえたらそれで良いと考えています。他府県から入居した方々が利用しやすい墓も考えてほしいです。
- ・墓じまいをして一年。実母も高齢となり、現実問題お世話になりたいです。
- ・これからは、おひとり様や子どもがいない人、お墓は管理していくのが大変など、人それぞれに違い

が出てくると思うので、いろんな選択ができればいいなと思います。

- ・お墓は代々子孫が継ぐもの、という考え方が一般的ですが、今後、未婚や子が生まれても男子でない場合など、継げない場面も増えると思います。そういった方々の望む選択肢の拡充を希望します。
- ・高齢者の免許返納が問題になっている昨今、マンションタイプでも良いので交通の便の良い場所に作ってほしい!!遠くに住んでいる家族でも来られやすいので。

●迷っている、わからない等

- ・今あるお墓も面倒で守っていけるか分からないので、必要かどうかまよっています。
- ・現在潮見坂にお墓があるが、子どもが遠方に住んでおり、春日井に帰ってくるか未定。お墓を管理できる者がいなくなる可能性もある。
- ・親戚の墓、仏壇、故人の年忌等の面倒を見ているが、残された子どもは病気で管理できずその次がいなくていずれは絶える家です。この先この家のことはどうしたものかと考えあぐねています。
- ・現在は安心していますが、後々のこと（孫の後）はわかりませんし、必要などころもあります。
- ・私の死後、子どもたちが管理してくれるのか不安です。
- ・核家族化、少子化に伴い永続的な維持管理は問題視されます。墓じまいも出来ず、放置が散見されなければ良いのですが。
- ・主人の両親、主人のお墓が潮見坂にはありますが息子が市外在住なので私が入った後はどのように維持してくれるのか不安
- ・孫の代までぐらいいは墓を守ってくれると思いますがその先はどうなりますか??
- ・実際、私の思いは確立されていないのが現状です。しかし、多様化し過ぎるのも問題であると思う。
- ・私は外国人であり、日本でお墓を持つことのイメージがよくできません。
- ・正直なところ、あまり実感がありません。

●その他

- ・祖父母や父母の代に比べて葬儀や法事の時のみお寺とかかわりがあるだけで、特別信仰心があるわけでもない。今度や子や孫の代になるとますますそういう意識は薄くなっていくと思うので、納骨や葬儀のあり方は変わっていくと思う。
- ・実家、親族が遠方の為、春日井で墓に入ることはないと思っているが、親族と疎遠になったり身寄りもない状況になればと考えるべきこともある。長くこの地に住んでいる方々のことを考えて運営していただければと考えます。
- ・核家族化の進展等により、墓の管理が困難となる。管理委託制度の確立、シルバー人材センター等の利用、墓仕舞への対応を容易にしてほしい。
- ・いずれ土にかえると思っています。お骨も絹の袋に入れて土中にうめると土になっていくと思っています。
- ・子どもはいるが孫がいない。
- ・常々、息子たちにお墓は心の中にある事が一番だと話し、思い出してくれること、心の中で手を合わせてくれたら一番嬉しいと話しています。
- ・時代と共にお墓も考えなおす時期がきていると思うので今回のアンケートで今一度お墓のあり方について考えたいと思う。
- ・墓地が、暗い、恐い、静かな場所から、明るい、楽しい、気楽に立ち寄れる場所になると良いと思

う。

- ・お墓があると子どもがしばられる（気持ちもお金も）。死んでしまった人にお金をかけるより自身の居間にかけてほしい。魂はお墓にはいない。
- ・まだお墓のことを考えたことがなかったので考える良い機会となりました。
- ・家族、子どもに世話をかけたくないので、この先も、家族葬が多くなると思います。
- ・今の時代お墓というものは不要になりつつあると思う。直葬してそれで終わりが良いと思う。
- ・お墓（死後）は先祖より受け継がれるモノというイメージが強く、祖父母や親と同じような形式をとるべきという風を感じてきたが、新しい形が増えている今、もっと新しい情報が気軽に身近になると良いと思う。新しい形について、もっと知りたい！！

●潮見坂平和公園について

- ・公園内にカフェを設置したり、若い人が気軽に来れるところにしてほしい。
- ・他のお墓の周りに草が生えているので管理事務所で検討してほしい。
- ・園内の街路樹から出される落葉を清掃してほしい。駐車場のスペースが広く、停めやすくてよい。
- ・施設の備品が劣化しているのを見かけるので、まずはそういうところからきちんとしてほしい。
- ・潮見坂平和公園はとてもよく管理されていて、お墓参りに行くたびに心地よく感じてとても感謝しています。
- ・潮見坂はちょっと遠い。
- ・高齢になり車の運転を止め、交通が不便になりました。墓地の中にも何ヶ所か停留所を作って年間行事の正月、盆、彼岸など6回程度運行してほしい。各駅(JR)に止めてほしい。

3 お墓に関する意識調査アンケート集計一覧表

表 23 アンケート結果一覧

問	質問内容	回答項目	回答者数	割合	母集団 n
問 1	あなたの性別は。	1 男性	195	46.0%	424
		2 女性	227	53.5%	
		無回答・不明・無効	2	0.5%	
問 2	あなたの年齢は。	30～39 歳	61	14.4%	424
		40～49 歳	113	26.7%	
		50～59 歳	74	17.5%	
		60～69 歳	75	17.7%	
		70 歳以上	99	23.3%	
		無回答・不明・無効	2	0.5%	
問 3	あなたは、先祖のお墓を守る立場にあると思いますか。	1 そう思う	238	56.1%	424
		2 そう思わない	115	27.1%	
		3 わからない	64	15.1%	
		無回答・不明・無効	7	1.7%	
問 4	あなたは自分が入ることのできるお墓等がありますか。	1 潮見坂平和公園内にある	101	23.8%	424
		2 潮見坂平和公園以外にある	156	36.8%	
		3 購入を検討中	9	2.1%	
		4 お墓等はない	150	35.4%	
		5 その他	5	1.2%	
		無回答・不明・無効	3	0.7%	
問 5	問 4 で 1 又は 2 に ○ をつけた方にお聞きします。あなたは、お墓の使用権を代々継いでいくこと（継いでいさせること）に不安はありますか。	1 ある	154	59.9%	257
		2 ない	63	24.5%	
		3 わからない	35	13.6%	
		無回答・不明・無効	5	1.9%	
問 6	問 4 で 3 又は 4 に ○ をつけた方にお聞きします。お墓を取得するときにもっとも重視する事項は何ですか。	1 お墓の値段、維持管理費	49	30.8%	159
		2 運営者の信頼感及び安心感	8	5.0%	
		3 交通の便	14	8.8%	
		4 宗教・宗派	1	0.6%	
		5 園内の雰囲気及び周辺の環境	4	2.5%	
		6 申し込みたい形式のお墓があるか	9	5.7%	
		7 こだわりはない	19	11.9%	
		8 お墓は不要	46	28.9%	
		9 その他	4	2.5%	
		無回答・不明・無効	5	3.1%	
問 7	潮見坂平和公園では、どのような施設を整備するとよいと思いますか。※複数回答可	1 納骨堂	176	41.5%	424
		2 合葬墓	172	40.6%	
		3 樹木葬	167	39.4%	
		4 従来どおりのお墓	98	23.1%	
		5 芝生墓所	67	15.8%	
		6 その他	8	1.9%	
		無回答・不明・無効	35	8.3%	
問 8	問 7 で 1 から 3 に ○ をつけた方にお聞きします。必要だと思える理由は何ですか。	1 子どもや孫に面倒をかけたくないから	142	45.1%	315
		2 お墓を継ぐ者がいないから	61	19.4%	
		3 お墓の清掃など管理の必要がないから	37	11.7%	
		4 一般的なお墓に比べて費用が安いと思うから	19	6.0%	
		5 現在、お墓や納骨堂を持っていないから	13	4.1%	
		6 その他	12	3.8%	
		無回答・不明・無効	31	9.8%	
問 9	春日井市に納骨堂、合葬墓又は樹木葬があれば、利用したいと思いますか。	1 利用したい	109	25.7%	424
		2 家族が望めば利用してもよい	111	26.2%	
		3 検討したい	78	18.4%	
		4 利用したくない	23	5.4%	
		5 分からない	69	16.3%	
		無回答・不明・無効	34	8.0%	
問 10	自由記入欄		77	-	424

『お墓に関する意識調査アンケート』調査票

お墓に関する意識調査アンケートへのご協力をお願い

日頃より、春日井市の市政に対するご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。春日井市では、潮見坂平和公園で墓園事業を行っているなかで、今後の市民ニーズに対応した施設の整備を進めていくにあたり、市民の皆様のお墓に関する考え方やご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは、市内にお住いの様々な年代の方を無作為に1,000人選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。回答いただいた内容は、統計的に取り扱い、個々の内容が公表されるようなことはありません。

今後の春日井市の墓園事業運営にあたっての資料として活用しますので、率直な意見をお聞かせいただければ幸いです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年5月

春日井市長 伊藤 太

ご記入にあたってのお願い

- ご回答にあたっては、ご本人（この調査票が送られた宛名の方）が回答してください（代筆は可能です）。
- ご回答は、無記名です。氏名・住所の記名の必要はありません。
- ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
- 回答の○印は、設問ごとに「○はひとつ」「○はいくつでも」などの指示に従ってください。
- 「その他」とお答えの場合は、（ ）に具体的な内容をご記入ください。
- 前の質問の回答により、進み方が変わる場合がありますので、質問の順にお答えください。

ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて

で**令和元年6月14日（金）**までにご投函ください。

問い合わせ 春日井市建設部公園緑地課
春日井市潮見坂平和公園管理事務所
電話：0568-84-4444 FAX：0568-85-3451

調査方法

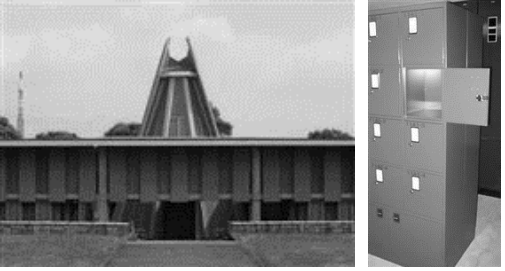


調査対象：春日井市在住で平成31年4月1日現在満30歳から79歳の男女

調査人数：1,000人

抽出方法：住民基本台帳から10歳ごとの年齢人口比に応じて無作為抽出

調査方法：アンケート調査票を郵送し、同封した返信用封筒により郵送回収

お墓の形態について

納骨堂	遺骨を安置しておく屋内施設。ロッカー式、仏壇式等があります。	 <p>出典：名古屋市ホームページより抜粋『八事霊園納骨堂』</p>
合葬墓	一つのお墓に多くの遺骨を一緒に納骨する（合祀ともいいます）形態のお墓です。名義を継ぐ必要はありません。	 <p>出典：神戸市ホームページより抜粋『神戸市立鶴越墓園鶴越合葬墓』</p>
樹木葬	樹木をモニュメントとしたお墓です。納骨方法としては、一体ごとに分けて納骨する方法や合祀する方法があります。名義を継ぐ必要はありません。	 <p>出典：長久手市ホームページより抜粋『長久手市卯塚墓園樹木型合葬式施設』</p>
芝生墓所	芝生の敷地内に統一された形の墓石を設置するお墓です。景観が良いほか、草取り等の管理が不要なのが特徴です。	 <p>潮見坂平和公園内で撮影</p>

お墓に関する意識調査アンケート調査票

次の設問について、あてはまる項目の番号に直接○印をつけてください。

あなたについて

問1 あなたの性別は。(○はひとつ)

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢は。(○はひとつ)

- 1 30～39歳 2 40～49歳 3 50～59歳
4 60～69歳 5 70歳以上

問3 あなたは、先祖のお墓を守る立場にあると思いますか。(○はひとつ)

- 1 そう思う。 2 そう思わない 3 わからない

お墓について

問4 あなたは自分が入ることのできるお墓等がありますか。

(○はひとつ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 潮見坂平和公園内にある | 2 潮見坂平和公園以外にある |
| 3 購入を検討中 | 4 お墓等はない |
| 5 その他 () | |

問5 1又は2に○をつけた方にお聞きします。あなたは、お墓の使用権を代々継いでいくこと(継いでいかせること)に不安はありますか。

(○はひとつ)

- 1 ある
2 ない
3 わからない

問6 3又は4に○をつけた方にお聞きします。お墓を取得するときにもっとも重視する事項は何ですか。(○はひとつ)

- 1 お墓の値段、維持管理費 2 運営者の信頼感及び安心感
3 交通の便 4 宗教・宗派
5 園内の雰囲気及び周辺環境
6 申し込みたい形式のお墓があるか
7 こだわりはない
8 お墓は不要
9 その他 ()

潮見坂平和公園について

春日井市では、潮見坂平和公園で墓園を運営し、子孫が継いでいく限り代々使用できる従来型のお墓を整備しています。

問7 潮見坂平和公園では、どのような施設を整備するとよいと思いますか。必要だと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 納骨堂
- 2 合葬墓
- 3 樹木葬
- 4 従来どおりのお墓
- 5 芝生墓所
- 6 その他 ()

問8 1から3に○をつけた方にお聞きします。必要だと思う理由は何ですか。(○はひとつ)

- 1 子どもや孫に面倒をかけたくないから
- 2 お墓を継ぐ者がいないから
- 3 お墓の清掃など管理の必要がないから
- 4 一般的なお墓に比べて費用が安いと思うから
- 5 現在、お墓や納骨堂を持っていないから
- 6 その他 ()

問9 春日井市に納骨堂、合葬墓又は樹木葬があれば、利用したいと思いますか。(○はひとつ)

- 1 利用したい
- 2 家族が望めば使用してもよい
- 3 検討したい
- 4 利用したくない
- 5 わからない

問10 自由記入欄

アンケートへのご回答ありがとうございました。このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて6月14日(金)までに投函してください。

Ⅲ 潮見坂平和公園墓地需要予測について

1 墓地需要予測の考え方

墓地需要の対象者は、大きく分けて、

- ①お骨を埋蔵するためにお墓が必要な人
- ②お墓を持っているが、遠方である等の理由により改葬を希望する人
- ③お墓を持っているが、分骨をするため別のお墓が必要な人
- ④自分が入るお墓を持っておらず、生前取得を希望する人

の4通りである。

墓地需要予測にはいくつかの方法があるが、家族構成や墓地のニーズの変化により正確な需要数を算出することは困難となっている。あわせて、④の生前取得者の存在が今後の需要予測を一層困難にしている。

以上のことから、正確な需要数を算出することはできないが、今後の整備の方針及び規模を検討するため、概算ではあるが潮見坂平和公園の墓地需要予測を行う。

2 墓地需要の試算-大阪府方式-

(1) 墓地需要の算定方法

大阪府方式は、墓地需要予測において一般的に広く用いられている方式であり、算定対象都市全体における墓地の需要予測に利用される。

現在の居住地域への定住性（定着指向係数）を基準とし、墳墓の所有状況と将来の墳墓等の取得意思（墳墓需要率）と1家族が1墓所を必要とするという考え方により分家していく割合（傍系世帯率）を用いた手法であり、計算式及び算出に必要な数値は次のとおりである。

$$Q_i = Y_i \times S \times 1/2 (P + R)$$

Q_i …各年における墓地需要

Y_i …各年における死亡者数

S …定着指向係数

P …墳墓需要率

R …傍系世帯率

(2) 春日井市全体の墓地需要

春日井市の墓地需要を算定するため、必要な係数を明らかにしていく。

ア 定着指向係数

2017年2月に実施した第六次総合計画アンケート『市民意識調査』設問2で『今後の居留意向』を聞いており、87.4%が今後も春日井市に居住したいと回答していることから、この値を定着指向係数とする。

イ 墳墓需要率

2019年6月に実施した『お墓に関する意識調査アンケート』問6で現在お墓を持っていない人に対し、お墓を選ぶときに最も重視する点を聞いている。この回答をした方から「お墓は不要」を引いた108人を全回答者424人で割った25.5%とする。

ウ 傍系世帯率

「お墓に関する意識調査アンケート」問3で「あなたは、先祖のお墓を守る立場にあると思いますか。」という問いに『そう思わない』と回答した方115人を全回答者424人で割った27.1%とする。

エ 大阪府方式を用いた過去の調査結果

参考として、過去に他の自治体等で行われた調査結果での各係数を以下に示す。

- | | |
|---------------|----------------|
| ①福岡市 (2010年) | ②横須賀市 (2011年) |
| ③新潟市 (2012年) | ④さいたま市 (2014年) |
| ⑤廿日市市 (2014年) | ⑥富田林市 (2015年) |
| ⑦京田辺市 (2015年) | ⑧下野市 (2015年) |
| ⑨三田市 (2016年) | ⑩各務原市 (2016年) |

表 24 他自治体における大阪府方式の各係数

(%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
定着指向係数	75.0	62.0	88.6	62.0	73.3	67.6	79.0	-	64.2	81.3
墳墓需要率	25.0	14.7	19.9	22.5	21.0	12.3	33.0	24.9	28.0	31.7
傍系世帯率	35.0	-	23.7	36.7	27.0	35.4	31.0	12.0	15.6	16.8

(公益社団法人 全日本墓園協会 第29回墓地管理講習会テキストより)

オ 死亡者数

推定死亡者数については、公的機関により発表されたものがないため、各機関により発表された数字をもとに算出する¹。

全国の死亡率と春日井市の死亡率の比率を算出し、全国の死亡率の推計値に乗ずることで、春日井市の死亡率及び死亡数を推計すると表 25 のとおりとなる²。

表 25 春日井市における死亡数の推計

年次	全国	春日井市		
	死亡率	人口	死亡率	死亡数
2014	0.01007	309,854	0.00767	2,377
2015	0.01023	310,358	0.00810	2,515
2016	0.01039	311,236	0.00804	2,503
2017	0.01067	311,344	0.00835	2,603
2018	-	311,608	0.00834	2,599
2020	0.0113	304,899	0.0088	2,683
2025	0.0124	299,843	0.0097	2,908
2030	0.0135	292,452	0.0106	3,099
2035	0.0144	284,051	0.0113	3,209
2040	0.0151	275,653	0.0118	3,252
2045	0.0155	267,694	0.0121	3,239

ア～ウにより、春日井市の各係数は次のとおりとなる。

S …定着指向係数=0.874

P …墳墓需要率 =0.255

R …傍系世帯率 =0.271

¹ 出典 2014 年から 2018 年までの春日井市人口及び死亡数は、住民基本台帳(各年 1 月～12 月)、全国死亡率は国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集 2019 年版表 1-8 住民基本台帳人口を表 5-1 死亡数で割ったもの(2018 年の死亡数は記載がないため死亡率も不明)。

2020 年以降の春日井市人口は、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)』結果表 1。全国死亡率は、同『日本の将来推計人口(平成 29 年推計)』推計結果表 表 10-16 粗死亡率(総人口)

² 2015 年から 2017 年までの春日井市死亡率を全国死亡率で割ったものの平均は 0.7830 となるので、2020 年以降は春日井市人口に全国死亡率と 0.7830 をかけて死亡数を推定する。

これらを用いることにより、大阪府方式による計算式は、次のとおりとなる。

$$Q_i = Y_i \times S \times 1/2 (P + R) = Y_i \times 0.2298$$

この計算式に春日井市の死亡数を代入し、近年の春日井市全体の墓地需要を算定すると次のとおりとなる。

表 26 過去 5 年間における春日井市全体の墓地需要

年次	2014	2015	2016	2017	2018
死亡数 (Y_i)	2,377	2,515	2,503	2,603	2,599
墓地需要 (市全体)	546	578	575	598	597

また、今後の春日井市全体の墓地需要は、次のとおりとなる。

表 27 2045 年までの春日井市全体の墓地需要

年次	2020	2025	2030	2035	2040	2045
推計死亡数 (Y_i)	2,683	2,908	3,099	3,209	3,252	3,239
墓地需要 (市全体)	616	668	712	737	747	744

(3) 潮見坂平和公園の現状

まずは、現在の潮見坂平和公園の申込状況等を確認する。

ア 申込数及び返還数

表 28 過去5年間における潮見坂平和公園の申込数と返還数

年次	2014	2015	2016	2017	2018
潮見坂平和公園 の申込数	116	126	121	86	86
返還数	82	123	104	145	153

- 申込数が減少傾向にある一方で返還数が増加傾向にあることが確認でき、2017年度には申込数と返還数が逆転している。

イ 申込数の内訳

表 29 過去5年間における潮見坂平和公園の申込数内訳

年次	2014	2015	2016	2017	2018
新規区画の申込数	89	99	98	66	58
3 m ²	86	86	90	56	54
4 m ²	3	13	8	10	4
返還区画の申込数	27	27	23	20	28
2 m ²	-	-	-	-	8
4 m ²	15	17	14	8	8
5 m ²	2	1	1	3	2
6 m ²	8	8	7	6	7
その他の面積	2	1	1	3	3
申込数計	116	126	121	86	86

- 新規区画は、最も面積の小さな3 m²の申込みが大半を占めている。

- 返還区画は、毎年一定の申込数があることが確認できるが、新規区画の方が数倍多い状態である。
- 返還区画の申込数の内訳をみると、最も面積の小さな区画に過度に集中することなく、様々な面積に毎年一定数の申込みがある。
- 2018年度から6㎡の返還区画を2㎡に分割して9区画募集したところ8区画申込みがあったことから、面積の小さな区画への需要は高いと考えられる。

ウ 返還数の内訳

表 30 過去5年間における潮見坂平和公園の返還数内訳

年次	2014	2015	2016	2017	2018
3㎡	1	0	0	2	1
4㎡	33	56	46	65	77
5㎡	2	1	3	2	0
6㎡	41	58	44	67	64
その他の面積	5	8	11	9	11
返還数計	82	123	104	145	153

- 返還数は、4㎡区画と6㎡区画が同程度ある。
- 4㎡区画と6㎡区画の返還数が、全体の大半を占めている。
- 表 28 から、潮見坂平和公園の申込数に比べて返還数が多く、残り区画数は増加傾向にある。

エ 残り区画数

表 31 2018 年度末の残り区画数

	新規区画		返還区画						計
	3 m ²	4 m ²	2 m ²	3 m ²	4 m ²	6 m ²	芝生墓所	その他	
第 1 墓所					14	26		5	45
第 2 墓所					101	59		11	171
第 3 墓所			1		12	190		33	236
第 4 墓所					19	67		8	94
第 5 墓所					124	53			177
第 6 墓所					83	1			84
第 7 墓所	125	154		6	6				291
芝生墓所							2		2
計	125	154	1	6	359	396	2	57	1,100

- 新規区画は、3 m²区画と 4 m²区画を募集している。
- 返還区画は、4 m²区画と 6 m²区画が多く残っている。

(4) お墓の需要

潮見坂平和公園のお墓の需要を市全体の墓地需要から算出する。

ア 墓地需要に対する潮見坂平和公園の申込割合

表 32 潮見坂平和公園における過去 10 年間の申込数

年次	2009	2010	2011	2012	2013
墓地需要 (市全体)	499	547	528	557	549
潮見坂平和公園の 申込数	249	172	208	167	176
市の需要に対する 割合	49.8%	31.4%	39.3%	29.9%	32.0%

年次	2014	2015	2016	2017	2018
墓地需要 (市全体)	546	578	575	598	597
潮見坂平和公園の 申込数	116	126	121	86	86
市の需要に対する 割合	21.2%	21.7%	21.0%	14.3%	14.4%

- 市全体の墓地需要と潮見坂平和公園への申込数との比率は、表 32 のとおり推移してきており、2009 年は 49.8%あったものが直近の 2018 年では 14.4%となっている。

イ 潮見坂平和公園のお墓の需要

表 32 中の市全体の墓地需要に対する潮見坂平和公園の割合から直近値の 14.4%(2018 年)を用いて、潮見坂平和公園に対する需要を予測すると次のとおりとなる。

表 33 潮見坂平和公園における 2045 年までの墓地需要

年次	2020	2025	2030	2035	2040	2045
墓地需要 (市全体)	616	668	712	737	747	744
潮見坂平和公園 の墓地需要	88	96	102	106	107	107

春日井市潮見坂平和公園再整備計画

2020年11月

春日井市建設部公園緑地課

潮見坂平和公園管理事務所